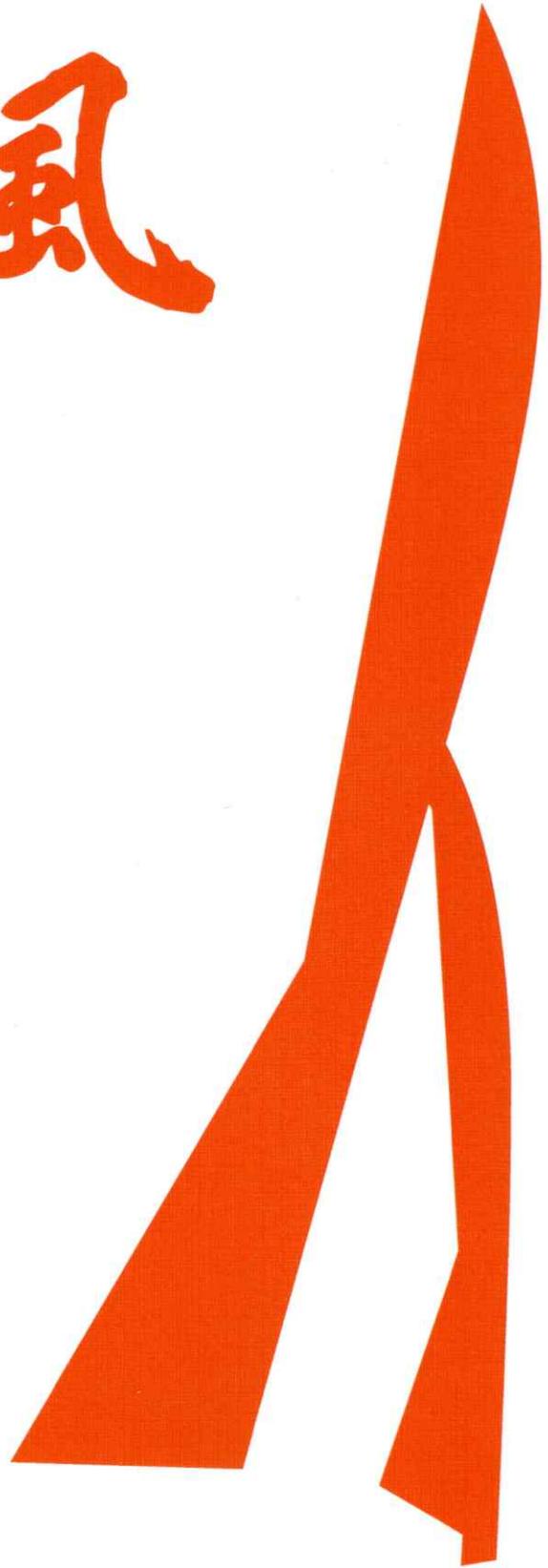


# 琴風

第47号

長崎大学ヨット部



## 目 次

1	会長挨拶	盈 辰博
2	大学生活を終えて	日向 純平
3	澁谷先輩の叙勲インタビュー	盈 辰博
4	村田さんへ	藤原 久郎
5	広告	
6	阿南・矢津田メモリアル基金	
7	収支報告	貝原 宗重
8	二足のわらじ	八島 敏明
9	近況のご報告	大久保 通
10	40年振りの国体予選	貝原 宗重
11	ベテランたちのクルージング流儀 KAZI2019年7月号より	田中 洋
12	現役活動報告	
13	インカレ成績表	
14	部員名簿	
15	関東支部会と総会	
16	長崎大学ヨット部琴風会会則	
17	編集後記	

## 会 長 挨拶

S47 入学 盈 辰 博

令和 2 年 4 月初旬にこの原稿を書き始めましたが、全世界に新型コロナウイルス感染が深刻なほど拡散しており、人の移動はなくなり、観光地、各イベント、スポーツ観戦等は中止・激減して世界経済は停滞し、そら恐ろしい状況となっております。

約 4 ヶ月後の 2020 年東京オリンピック記念琴風会総会を令和 2 年 8 月 1 日（土）に箱根の湯本富士屋ホテルで開催し、翌日の 8 月 2 日（日）にヨットレース観戦を予定しておりましたが、2020 東京オリンピックの開催が 2021 年 7 月 23 日からに丁度 1 年延長されたことから、琴風会東京記念総会も併せて延長させて頂くことになりました。参加予定者の方々には先にご了承をお願いしておりますが、状況に応じて参加を再度募集させていただきますので、再考の程よろしくお願いいたします。

この原稿がお手元に届いている頃には、きっと世の中も良い方向に向いていることを切に切に願っております！

さて、昨年の令和元年（平成 31 年）度におきましては、例年通り琴風会総会を地元長崎の割烹浜勝にて 8 月 31 日（土）に開催いたしました。

今回は、例年よりも会員は 15 名と少なくなりましたが、現役 4 名参加しての総勢 19 名の参加となりました。

翌日には 4 名 1 組と最少人員となりましたが、オーシャンパレスにてゴルフコンペの開催となり、子々川ではヨット OB・OG 戦、バーベキュー企画が実施され、若手の OB・OG が 20 名近く集って楽しんだようです。

関東支部会の方は、日程の都合上、新年早々の令和 2 年 1 月 11 日（土）にて、前年同様「浜勝銀座店」での開催となり、15 名の参加であったものの、久しぶりの先輩の参加や若年層も加わり贅沢な会を今回もこの時ばかりは楽しませて頂きました。

琴風会総会及び関東支部会の盛会模様については、支部会便りにて御照覧下さい。

また、「琴風」冊子につきましては、インターネットによる通信の普及、印刷代の費用削減、現役への支援金の拡充等により、貝原氏のご足労もありますが、インターネットにより「長崎大学ヨット部琴風会」と検索して頂ければ、誰でも「琴風」冊子も閲覧出来るようにして、ネットに掲載できない個人情報（会員連絡先一覧）は、従来通り、郵送する運びとなりましたので、ご了承して頂くようお願い申し上げます。

後書きになりましたが、令和 2 年 3 月 6 日に、大先輩であり、ごく最近までヨットを楽しみ、長大ヨット部の催し物等にはいつも陰ながら支援して頂いた村田富士夫先輩が、天国に召されていかれました。

また一人、長大ヨットマンがいなくなり、寂しい限りです。  
ご冥福をお祈り申し上げます。

また、最後になりましたが、私も長大ヨット部創立時とほぼ同時期に生を受けまして、いやでも高齢者呼ばわりされる齢となりましたので、今回の琴風会総会をもって、後輩の肥田剛君に会長職を譲ることにいたしました。

平成 18 年 10 月 28 日の総会から 14 年程も会長職を仰せつかり、とは言っても、“幹事”として皆様のお世話をさせて頂きましたが、先輩、後輩の多くの方々と知り合うことができ、楽しい期間でもありました。自身、長大ヨット部あつての人生を過ごさせて頂き、皆様方には感謝する次第であります。本当にありがとうございました。

東京オリンピック記念東京総会については、開催まで“幹事”としてお世話させて頂きますが、今後は、即隠居ではなく、“顧問”として従来通り、琴風会総会はたまた各支部会等にも、健康で時間がある限り参加させて頂く所存ですので、新会長ともども、長大ヨット部の会員として、いつまでもよろしくお願い申し上げます。

## 大学生活を終えて

長崎大学水産学部 日向純平

現在、あと数日で卒業を迎えるというところでこの文章を書いているのですが、昔のことを回想すると様々なことが思い出されます。

私が長崎に来たのは受験に失敗したからでした。センター試験の後、水産系統の大学は長崎と鹿児島、山口のどれかを選べというときに、一番まともそうな長崎に決めました。東京生まれ東京育ちの私は地方をよく知らず、飛行機の中から遠ざかる東京の街を見て「ああ、もう一生東京には戻れないんだなあ」と感じていました。今考えると当時の自分はそれだけ世界が小さかったのだと思います。九州に降り立つこと自体が初で、長崎空港からのバスが山道に入って行くやいなや不安がつのっていきました。

私は高校生活で何かに打ち込むことをしていませんでした。故に卒業式で部活に打ち込み志望校にも合格している周りの同級生を見て、自分が空虚な存在に感じてやまなかったです。三年間という時間にどれだけの価値があったのかをこの時、痛みを以て理解しました。故に、私は一つのことを絶対に最後までやり遂げることを念頭に大学生活を考えていました。ヨット部に入ったのはこういう時に松田さんや田中さんに勧誘していただいたためでした。

ヨット部生活の初期は驚くことばかりでした。船が転覆して真っ逆さまになること、ミーティング時に先輩が意味不明な言葉を発していること。新歓コンパでOB・OGさんが遠方からでも来るということ、飲み会が激しかったこと……。今では慣れてしまっていることですが、当時はとても印象的なことでした。

私は一年の個人戦から大会に出場していましたが、レースでの結果を本格的に意識するようになったのは二年生後半からでした。自分の大学生活の使い方を考えるようになったことがきっかけでした。卒業してしまったらこんなことは到底言えないですが、私は大会での結果がよくないことは、学生側の意識の問題であると考えています。大学から子々川までが通える距離にあり、大学の宿泊施設もあり、監督もいて、琴風会から支援をもらっている現在の長大ヨット部はむしろ恵まれている環境にあると思います。周りの大学はスポーツ推薦で経験者が入っていますが、ほかの水域の大学では大学から始めた人でも上位を走っていることを知っています。「いつか速く走れるだろう」などという考え方が甘いのです。支援をもらって受け身になるのではなく、勝つためにはどうすればよいかを本気で考え、そのために自分たちで行動する主体性こそが、現役の部員には必要なのだと思います。そして、おそらくそのために色々と自由に試行錯誤することは「大学生活でしかできないこと」であるような気がします。「長崎大学ヨット部」を掲げて出場できるのは現役の四年間しかないということの意味を理解しなければいけないのです。

と、まあ頭で理解して口ではこうして言うものの、実際やってみるとなかなかうまくはいかなかったというのが自分の感想であります。なんとというか、自分に余裕がなくて、終わっ

てからの方が色々といいことを思いつくし、なんであのときにできなかったのかなあと  
思うことばかりです。もっと同期を含め、人に頼ればよかったなあと思います。反省するこ  
とはたくさんあるのですが、いずれにしろ、何もしなかったことを後悔した高校三年間よりも  
有意義な四年間を送ることが出来たことは確かでした。

部活動を行う中で、お酒で迷惑をかけたり、海上保安庁のお世話になったり、人数が増え  
たり減ったり、もらった牡蠣で集団食中毒を起こしたりと様々なことがありました。楽しい  
ことも深刻なこともありました。そのたびに考えさせられ、監督である岡田さんや貝原さん、  
定期的に来てくれる OB・OG さん方に励まされながら、なんとか部活生活をやり遂げるこ  
とが出来ました。私は蒲郡での全日本大会に出場させていただき、この時には顧問の江石先  
生にはとてもお世話になりました。最後の大会である鹿屋で行われた九州インカレ団体戦  
に至るまで、琴風会には金銭面でとても支援していただきました。自分にこのような環境を  
与えてくれた長崎大学ヨット部と、第二の故郷としての長崎に感謝したいと思います。これ  
から頻繁に子々川に行くことは難しくなると思いますが、自分にできる限りの支援をして  
いこうと思います。



2020年ヨット部卒業：山本・庄司・羽野・日向（左から）

## 澁谷統壽先輩が春の叙勲を受章されました！

令和2年5月中旬においても、全世界に新型コロナウイルス感染が深刻なほど拡散して終息の目途がたっておりませんが、暗黒の世の中であって明るい嬉しいニュースが飛び込みましたので、お知らせいたします。

令和2年4月29日に2020年春の叙勲受章者が発表されまして、おそらく長大ヨット部では初めてかと思われませんが、澁谷統壽先輩が、「瑞宝中綬章」を受章されました！！

※「瑞宝中綬章」とは、国及び地方公共団体の公務、または公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた人を表彰する勲章。

なお、勲章のデザイン等詳しく知りたい方は、ネット等でご確認下さい。

新聞等によりますと、澁谷先輩は、“保健衛生功労”分野で、(独)国立病院機構長崎神経医療センター院長を経られての功績が称えられての受章とありましたが、今年は冒頭の世の中の状況とあって、晴れ舞台の受章式も中止になって非常に残念でなりません。

会員にもお知らせすべく、第47号「琴風」に間に合うことから、掲載させて頂きました。

ご本人には、受章の喜びを书面インタビューとはなりましたが、下記のとおりお聞きしております。

益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

インタビュアー 盈辰

博

\*\*\*\*\*

Q1：まずは、受章された喜びを一言お願いいたします。

瑞宝中綬章受章の栄誉に浴し、多くの人に支えられて今日ある自分の人生を顧みて素直に喜んでいきます。新型コロナウイルス感染拡大により、政府から緊急事態宣言が発出される中、宮中行事は中止になり少し残念です。オリンピックも中止、春の園遊会も中止になって、却って印象深い事になりました。

Q2：勲章を受けると、正直思っていましたか？受章の経緯をわかる範囲で教えてください。

春秋叙勲の場合は「春秋叙勲候補者推薦要綱」に基づき、各省各庁の長から推薦されます。内閣府賞勲局は、推薦された候補者について審査を行い、原案を取りまとめます。その後、閣議に諮り、受章者が決定されます。瑞宝章は長年にわたり国や公共への功績を上げた各界各層の70歳以上の方に対して贈られます。私は国立療養所川棚病院から独立行政法人国立病院機構長崎神経医療センターにおいて病院長として22年間も務め、Think, Serve, Innovationをモットーに多くの仕事をしてきた自負があるので、いつかは叙勲はあると思っていました。

Q3：現在も久留米市内の病院で執務されているとお聞きしていますが、現役続行は可

能な限り（何歳まで？現在78歳）、続けられますか？

令和2年3月に78才になりましたが、現在も現役で久留米市にある社会医療法人天神会新古賀病院に週4日勤務しています。神経内科専門医として年間に脳神経内科患者を約1000人、脳ドック受診者を約1200名診察しています。今は、一介の神経内科医として、患者の話をよく聞き、患者に触れて、患者の立場で考えることを心がけて診療しています。アルベルト・シュヴァイツァー博士は「生命への畏敬」をモットーに医療へ献身されました。青木月斗（俳人）の門下生であった父（南窓）は、人生の岐路に武者小路実篤が詠んだ“この道より我を生かす道なし、此の道を歩く”の詩を好み色紙に記しています。何歳になっても自分を生かすことのできる道を模索しながらも、ヒトの生き方そう簡単には変えられないでしょう。しかし、心がけていることは、やわらかな心で“ノーブレス・オブリージュ”に務めることです。聖路加国際病院の故日野原重明先生（105才で歿、享年107才）は“命の続く限り現場に立ち続ける”という信念を実践されました。私も見習いたいと思います。（日野原先生は1993年（72才）で勲二等瑞宝章を受章されています）。

Q4：医師やほかの業界の後輩に、アドバイスしておきたいことはありませんか？

医師としての私の好きな言葉がふたつあります。そのひとつは、血管外科の先駆者であった Ambrose Pare の言葉 “To cure sometimes, To relieve often, To comfort always”（時に癒し、しばしば苦痛を和らげ、常に慰める）。これは医療の限界と医師の心構えを示す良い言葉で、McGill 大学の Conn 教授を讃えて患者が建てた記念碑にも刻まれています。“Consoler Toujours” 「常に慰める」と患者に言われることは医師にとって最大の賛辞でしょう。もうひとつは、ドイツ・ロマンチック街道にある中世の城塞都市ローテンブルグの Spital 門に刻まれている言葉 “Pax Intransibvs Salvs Exenvtibs”（入り来る人には心の安らぎを、出て行く人には心と体の健康を）です。城塞都市ローテンブルグには五つの城門があるが、Spital 門は Hospital に通じる門であって、中世の騎士はこの門を絶対に攻撃することはなかったとのです。社会は様々な分野の多くの人に支えられて成り立っています。ホムンクルスで有名なモンリオール神経研究所の Wilder Penfield 教授は、その著書「NO MAN ALONE」のなかで “No man alone could do what to be done”（事は一人では成しえない）と語っています。脳はニューロンネットワークとグリアから成り、脊髄における Hierarchy（階層化）と大脳皮質の Lateralization（機能局在）を高次脳機能によって統合し高度なシステムとして機能していますが、社会や様々なシステム（組織）における中枢機能の役割も同じです。強い独創的な個性は組織を手続きではなく原則で管理することで、いかなる組織でも精密かつ意のままに機能させます。しかし、うまく機能するには良き指揮者が必要です。（面白いことに指揮者は長命で歌手は短命）。

\*\*\*\*\*

村田 富士夫先輩

桜が葉桜になりました。14日はご苦労様でした。雨で寒かったですね。帰りは川棚温泉に入って牛さんの所にご機嫌伺いに寄ってきました。

牛さんは13日に無事退院されました。奥さんの話によると今回の腹痛は便秘気味だったので糞塊が溜まったものだったという事でした。CTでは胆管炎の所見はなく、点滴ですぐ解熱したそうです。31日のヨットの影響があるかとの心配でしたが、発症はヨットから6日目でヨットの影響はまず無かったと判断しています。安堵しました。

トイレに関してはおしめをしているので、1日は持つ様です。大便是ヨットに行く前に済ませておく事にします。今の所、問題ありません。

プライドの問題ですが、奥さんによれば本人はあかん時はあかんというし、何より牛さんが皆さんに会うのを楽しみにして喜んでいたとの事でした。

牛さんにも確かめました。また、ヨットに乗りたいたそうです。牛さんは言葉が少なくなってきましたが、まだ、初期の段階で症状はまだら状。子供に戻っているみたいで情動の喜怒哀楽は充分残っており、今がゴールデンタイムの時期と考えております。もう少ししたら、行けなくなる時期が必ずやってきます。

で、村田さんにはご足労ですが、牛さんのためにテンボスに足を運んでいただければと願っています。今の時期しかないのでも宜しくお願い致します。

村田さんの足が不自由で何回も立ち止まらねばならないので、申し訳ないと思っています。オーナー会に折りたたみの車椅子を購入する様に提案します。まずは迫会長には報告、お願いしておきました。

私は村田さんのご希望通り、テンボスで残るヨット人生を楽しんで頂けたらと願っております。艇に乗り込んでしまえば当分は大丈夫と考えます。

ただ、これから何が起こるかは分かりませんので、その事については周りの皆さんと詰める必要があります。例えば転倒骨折が一番心配ですから、そんな時にどうするかを考えていく必要があります。ヨットに乗れなく体が不自由になったら、然るべき介護施設を考えるべきです。骨折の時は救急病院に搬送されますので、その時の支援体制を考えなければなりません。それは長崎か佐世保になるかと思えます。医師が揃っているのは長崎です。佐世保ならどここの病院と候補を挙げていた方が良いでしょう。緊急連絡先は救急隊員がわかる様な所に張って置く必要があります。

村田さんにお願ひがあります。Nativeの歴史は長崎ヨット界のクルーザーの歴史でもあります。阿南先生が新しいヨットライフの楽しみ方を示してくれたのですが、その歴史を書き留めておく必要があります。琴風にも載せていただきたいと思っています。牛さんにも書いてもらいたいのですが、無理なようです。時期を逸しました。ご一考ください。

人生、まだまだ楽しんで頂きたいし、私もお付き合いをさせて下さい。牛さんがもう充分乗ったよと言ってもらえる様にしたいと思っておりますので、村田さんにはまだまだ元気でもやってもらわなければなりません。私は外から帰ってきて、遅ればせながらやっと少しはヨットができる環境になりました。まだ、仕事は始まったばかりで安定するにはしばらくかかりそうです。今回は柿本さんにくっついて彼のヨットライフの楽しみ方を学ぼうと思っています。宜しくお願い致します。

敬具

村田先輩を偲ぶ

藤原 久郎

3月7日

あの敬愛する村田先輩が亡くなった。大間さんからの第1報があったのが早春3月7日・土曜日の昼前であった。世の中は新型コロナのクラスターが大阪のライブハウスで発生したとのニュースが出てきた頃であった。すぐ迫会長に電話連絡。間もなく大阪のお姉さんから「今から大阪を発ちます」と電話がかかってきた。すぐ新幹線に飛び乗ったと早とちり（実際は飛行機）、博多経由早岐までは5時間はかかるので夕方までにアパートのある早岐指方で会えればと考えた。波多野さんから連絡あり、波多野さんの仕事が終わり次第、一緒にテンボスでお姉さんをお待ちしようとの話になった。3時過ぎ、ワイパーが激しく動く雨の中テンボスへ走った。ハーバーにはお姉さんを待つヨット仲間が集まっており、クラブハウスで第一発見者、吉原さんの話を聞くことになった。何とグラス片手に亡くなっていたそうである。部屋には複数の黒霧空箱が散らばっていたそうである。村田さんらしい。ヨットマン村田さんの話に花が咲いた。程なくお姉さんはすでに長崎に入っているとの連絡が入り、葬儀の段取りを協議するためにまだ降り止まぬ冷たい雨の中長崎に戻った。



#### 村田さん長崎にUターン

村田先輩は昭和34年にヨット部に入部されている。時津の万行寺に下宿していた関係で岩崎・阿南先生との繋がりが強かったと伺っている。昭和44年に我がヨット部が全日本に初出場（西宮）した時は私は1年生、荷物持ちでのこのこ芦屋に行った。1年生がシート、セールを入れたセールバックを担いで行ったのである。全日本出場という大記録を打ち立てた矢津田主将は神様・仏様・ヤツダ様であった。矢津田さんはこの時、連日大阪でキャバレーや高級クラブで豪遊したと聞いていたが、そのスポンサーだったのが村田先輩であった。因みに長崎大学学生課にいた森勝利さんは学生に同行していたのだが、長崎に帰ってきたときはポケットには小銭が僅かに残っただけだったそうである。皆んなが舞い上がっていた。他大学はお揃いのユニフォームやシューズで決まっていたが、ジーンズとゴム草履が定番の垢抜けしてない田舎大学の初出場だったのである。それから間もなくして村田先輩は長崎に戻って来られた。昭和50年頃だったと思う。シーホッパーに乗られて、レーザー乗りの私と競い合ったのである。

**Native Dancer** の名前を付けられたのも、村田先輩だった。**Native Dancer** は競馬界のスターだったらしい。いつも馬券を買って楽しんでおられた。

阿南先生と村田先輩は三景台の矢津田さんの御宅で飲むことが多かった。このご両名は最初から一晩飲みあかすために、着替えも持って準備万端用意してよく泊まっておられた。3方とも酒・タバコ量が凄かった。何時までも賑やかに酔っ払っていたので、奥様はタバコでソファを焦されないかと心配だったそうである。この酒量の多さが後々身体に響くことになる。ビールも焼酎も底なしだった。つまみは少量でよかった。朝に酒を飲むのが本当の酒豪と聞いたことがあったが、村田先輩は朝、起きたらまずビールで、ビールがお茶がわりでまさに酒豪であった。

母港テンボスを中心に艇の管理でご苦労されたと思うが、Nativeの艇長としてヨットライフを存分に楽しまれていた。5月連休には五島や平戸方面のクルージングにもよく行ったものだった。崎戸・平島の伊勢海老、松浦の鷹島にはフグの生肝を食べに行った。長崎大学ヨット部関係だけでなく、常に県内ヨット仲間と広く長い付き合いがあった。昭和から令和まで心底ヨットライフを楽しんだ60年ではなかっただろうか。晩年は酒豪ゆえに病院にはかかっていた。膵臓のCT画像を見せてもらったが、さもあらんと納得した。でも、痛みがあろうがなかろうが酒は決して止める事はなかった。

アパートの2階に一人暮らし。最後は車も手放していたので買い物不自由だった。体力が落ちるにつれて2階に上がるのがしんどくなった。

私は高齢が進むと転倒事故が怖いので1日も早く、介護保険を取って介護保険の恩恵に預かってくださいと説得、懇願していた。

ついに介護保険料は納めていたにもかかわらず、介護保険にはお世話にならずに通された。ご自身の身体がポリオ後遺症で不自由があるにも関わらずである。艇に行くために揺れるポンツーンが歩きにくいとこぼしても、2階の自室に登る階段がきつくても、タクシーで買い物に行っても遂に最後まで介護保険のお世話にならなかった。亡くなる直前、今日こそは早岐の佐世保市役所の支所に手続きをさせようと迎えに行ったが、今日は寒いとか肩が痛いからと屁理屈をこねて断られた。重い腰を上げなかったのである。

葬儀代はこれでやってくれと通帳も残されていた。事実、今回はそれを使わしてもらった。

最後まで人様にお世話にはならない。自分の事は自分ですするという美学があったのである。ちょび髭がよく似合っていた。酒を片手に亡くなったが、独身高齢のヨットマンとしては極上のヨットライフを送られたのではないだろうか。ヨットマンの本懐ではなかったろうか。ちょび髭はトレードマークでした。

私のように家庭と職業持ちは仕事の合間に楽しむ程度のヨットライフであるが、村田先輩は朝から晩まで、毎日風と艇を心配し、骨の髄からヨットマンだった。クルーザーレースが終わったらすぐ帰ってしまう輩をいつも批判していた。クルーザーレースはレースが終わっても終わりではない、最後までとことん付き合う関係が大事なんだと話されていた。ヨットに乗らずともテンボスのハーバーに行って潮風に吹かれながら、ヨット仲間と楽しい酒を飲んで艇に泊まる生活を楽しまれていた。常に傍には酒・ヨット・仲間あり、自分の美学貫きを通した。まことに羨ましい人生かな。あっぱれでした。合掌。

#### 琵琶湖哀歌より抜粋

君は湖（うみ）の子 かねてより  
覚悟は胸の 波枕  
小松ヶ原の 紅椿  
御霊（みたま）を守れ 湖（うみ）の上



<p><b>医療法人 檜林整形外科医院</b></p> <p>長崎市船大工町 5 - 32</p> <p>No.46 S33 入学 檜林 好隆</p>	<p><b>医療法人 江上耳鼻咽喉科 ・めまいクリニック</b></p> <p>長崎市銅座町 2 - 15NK イリスビル 3F</p> <p>No.64 S35 入学 江上 徹也</p>	<p><b>西山医院</b></p> <p>広島県山県郡安芸大田町中筒賀 1556 - 1</p> <p>No.70 S36 入学 西山 英行</p>	
<p><b>はざま脳神経内科・内科医院</b></p> <p>長崎市中川 1 丁目 11 - 28</p> <p>No.84 S39 入学 迫 龍二</p>	<p><b>株式会社 鍋 島</b></p> <p>福岡市博多区吉塚 4-6-12-208</p> <p>No.92.93 S41 入学 田中修一・光代</p>	<p><b>税理士法人波多野アンドパートナーズ会計事務所</b></p> <p>長崎市万才町 6 - 35 - 2F</p> <p>No.100 S42 入学 波多野 徹</p>	
<p><b>佐伯医院</b></p> <p>福岡市南区和田 1-4-18</p> <p>No.166 S52 入学 貝原 宗重</p>	<p><b>医療法人 福田ゆたか外科医院</b></p> <p>長崎市浜口町 3 - 5</p> <p>No.116 S43 入学 福田 豊</p>	<p><b>医療法人 勝本外科 日帰り手術クリニック</b></p> <p>北九州市小倉北区足立 2 - 1 - 10</p> <p>No.131 S45 入学 勝本 富士夫</p>	
<p><b>みつる公認会計士事務所</b></p> <p>福岡市中央区荒戸 2 丁目 1 - 8</p> <p>No.137 S47 入学 盈 辰博</p>	<p><b>井手耳鼻咽喉科クリニック</b></p> <p>宮崎県延岡市出北 1 - 4 - 12</p> <p>No.147 S48 入学 井手 稔</p>	<p><b>漢方薬局 たんぼぼ</b></p> <p>筑紫野市筑紫 7-1 弁入ビル 1F</p> <p>No.153 S49 入学 長田 理恵子</p>	
<p><b>オーケー薬局</b> 長崎市銅座町2-15 NKイリスビル1F</p>			<p><b>マリン薬局</b> 長崎市浜口町3-16</p>
<p><b>カサマツ薬局</b> 諫早市山川町1-5</p> <p>No.110 S43 入学 大間 賢一</p>		<p><b>わかば薬局</b> 佐賀県西松浦郡有田町大木宿乙844-4</p>	

本号も上掲の13名の方々の御協賛で発行することができました。

本当にありがとうございました。

皆で育てる「阿南・矢津田メモリアル基金」その7



稲岡先輩アルバムより

<b>氏名一覧</b>	大塚俊明	後藤寛幸	塚本徳雄	畑田英樹	満永さゆり
綾部洋一	大串豊美	小針美樹	筒井憲昭	波多野徹	満永宙矢
案納強	大間賢一	財前博	土井克博	浜口孝	盈辰博
荒川敏明	岡田昌一郎	斉藤賢治	徳島惇	濱田達一郎	宮崎新治
<b>荒木秀一*</b>	岡田利久	齋藤謙太	徳島尚	林田邦雄	宮崎徹
石黒真理子	岡部望美	斉藤博	徳丸孝行	林日出喜	村井清文
井手稔	<b>岡本美佐緒*</b>	佐々和明	豊長和也	原佳伯	村田富士夫
伊藤祐介	奥嶋裕司	佐藤恵子	中恵子	肥田剛一	森健二
伊藤玲子	乙吉隆司	佐野義一	中尾剛規	福田真理	森永英彦
糸永正明	貝原宗重	鹿谷隆朗	中川準平	福田豊	森西康夫
糸永雅治	片木敏彦	柴田晋作	中島貴史	藤井崇博	八百山孝
稲岡晴紀	勝本富士夫	澁谷統寿	中島昇	藤澤信明	八木治
岩高宏樹	蟹江康夫	島岡啓一郎	永田恵美	<b>藤原和夫*</b>	安田宣子
岩永正明	亀井勝重	島崎勲	長田理恵子	藤原久郎	矢野右人
上坂政勝	蒲生公義	大門伸之	永富和義	細波文男	八幡和幸
上田健	鎌田普吾	大門広美	中原剛志	堀居堅	山口俊明
植松義幸	川寄 滋	田頭奈菜子	中村賢司	本田由紀夫	山田秀樹
牛島信雄	川瀬翔馬	高原武彦	中村真理子	前川清隆	吉田智香子
内田勝久	河田和子	田代雅美	中村道夫	<b>前田貴裕*</b>	吉村博史
江石清行	神崎修	田中修一	檜林好隆	前田昌顕	龍尾一信
江上徹也	草野義昭	田中洋	西山英行	益本智星	
江口和哉	草場秀彦	田中光代	仁田原司	松尾晃一	
大熊典子	國宗信之	谷田健郎	蜷川博之	松永高尚	
大塚一徳	後藤匡克	田村徳子	迫龍二	水谷正	

\*2019年度、新たに基金へ参加いただきました。

記載漏れがありましたら、貝原までご一報お願いいたします。

大学よりの艇購入はもとより備品購入もままならい現状です。現役の活動が安定して出来るよう、4～5年に一回、新艇（毎年50万円の貯蓄が必要ですが、2019年度は30,969円の赤字）を琴風会より寄贈するため、平成24年より琴風会会費（一口5,000円）を複数口お願いしています。5,000円を超える額は、「阿南・矢津田メモリアル基金」への寄附とさせていただきます。

基金への寄付は、5,000円未満も大歓迎です。200名を超える会員数ですので、皆様のご厚情が集まれば、大きな力になります。

\*救助艇（琴風）の維持・燃料費（ガソリン代）・艇庫維持管理は、大学より多大の費用をだしてもらっています。

#### 2020年度年度現役への援助予定

試合遠征費（艇運送費）：

九州インカレ個人戦、九州インカレ団体戦、九州470選手権

福岡小戸：110,000円 x 3

計：330,000円

艇整備費：

200,000円

部員勧誘準備費：

勧誘チラシ作成・レンタカー代等：150,000円

2017年度より部員勧誘費用援助を琴風会より行っています。

**合計：650,000円前後の金額を援助予定です**

琴風会連絡係：S56年ヨット部卒 貝原（佐伯）宗重 記

2020年4月

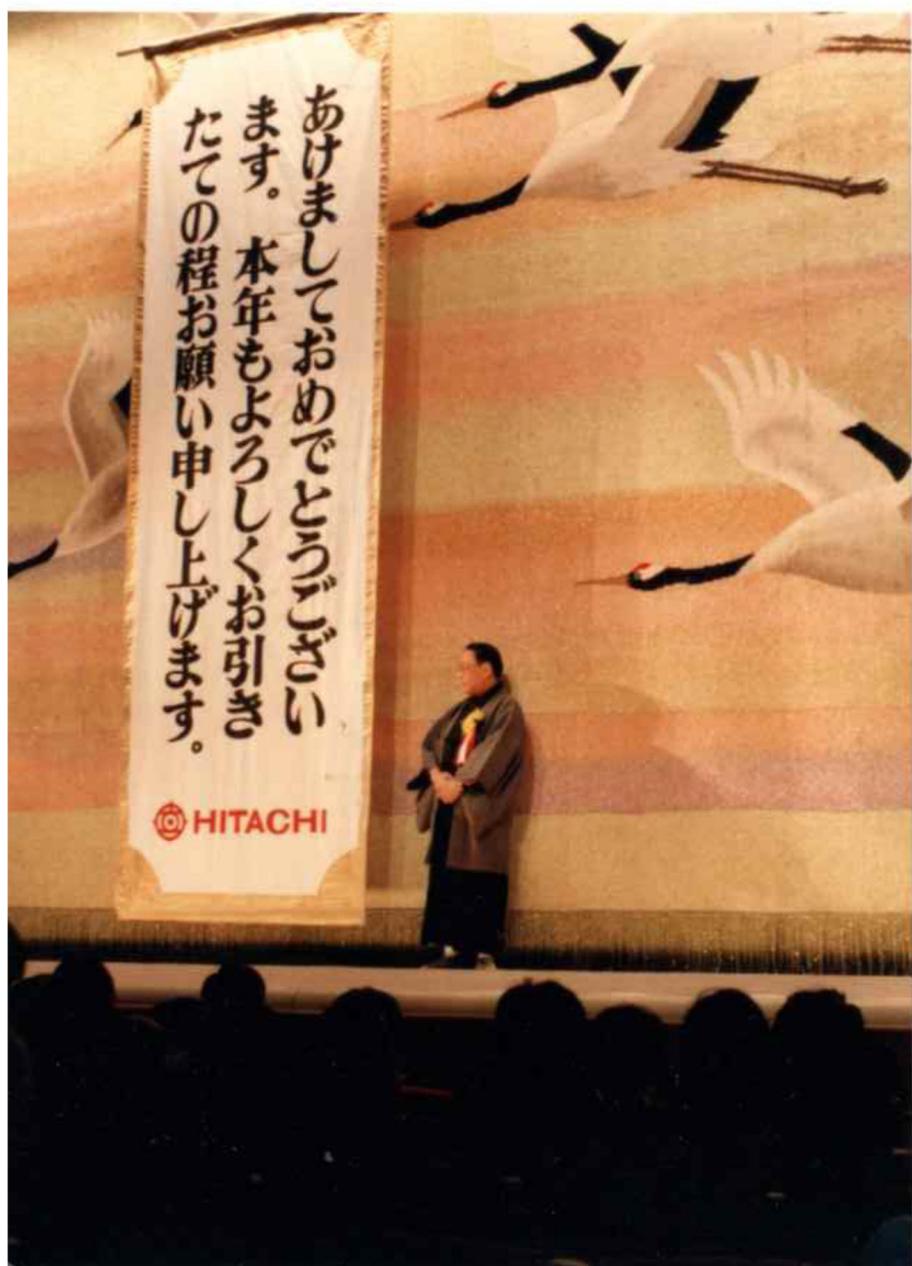
\*新型コロナウイルス流行のため、遠征については未定です。遠征試合がない場合は、新艇購入も考慮していますので会費納入・基金への寄付よろしくお願いたします。

“災い転じて福となす”

## 二足のわらじ

昭和40年入学 八島 敏明

ヨット部を卒業して51年が経過しました。卒業後の人生を振り返ると「仕事」と「障害者への支援」という二足のわらじを履いているというのが現実の姿です。「仕事」の分野では、日立の家電品販売と日立関係の不動産売買の仲介事業を行いました。日立では毎年1月7日に家電品の販売店様を対象とした歌舞伎招待会を実施していましたが、私が担当していた昭和64年1月7日の開演前に昭和天皇が崩御されました。紅白幕や看板類をすべて撤去し開催しましたが平成の始まりの日の慌ただしさが記憶に残っています。



卒業後のヨット部との最初の接点は社会人となり実習中に生活していた独身寮に同期入学の故矢津田君より分厚い手紙が届いたことです。「八島インカレで優勝したぞ-----」で始まる口語体の手紙で後輩のがんばりや先輩や関係者にお世話になったこと、同期入学の村上君（医学部）杉島君（経済学部）にも協力を得たことなどが嬉しさを隠せない躍り上がるような文字で書かれていました。

「障害者への支援」では、息子が5歳の頃、自閉症であることが判明しすぐ親の会に入会し、多くの親の仲間やボランティアさんと協力し年4～5回のハイキングや夏のキャンプ等を実施しました。その活動は息子が18才位まで続きました。又、当時親の会では、自閉症に特化した支援施設を横浜市に作ろうという活動が息子が9才の頃始まり、7年間に渡り毎月1回の定例会や全国40か所の施設見学等を行い平成元年に法人認可を得、翌年支援事業を開始しましたが、昨年法人設立30周年記念祝賀会を開催したところです。



スポーツの関係では、毎年国体とセットで実施される全国障害者スポーツ大会に平成 15 年の静岡大会から平成 26 年の長崎大会まで 12 年間かかりました。障害者の大会は都道府県+政令指定都市の単位で競われます。横浜市は障害者スポーツが盛んで常に素晴らしい成果をあげています。長崎大会では団長として参加しましたので自由時間はまったくとれませんでした。

東京 2020 パラリンピックは、カヌーとボートはありますがヨットはありません。将来は競技種目になってほしいと思います。

ここまで書いて来て思う事は「障害者への支援」というわらじがあまりにも大きく、直接ヨットとの接点がなかったという事です。

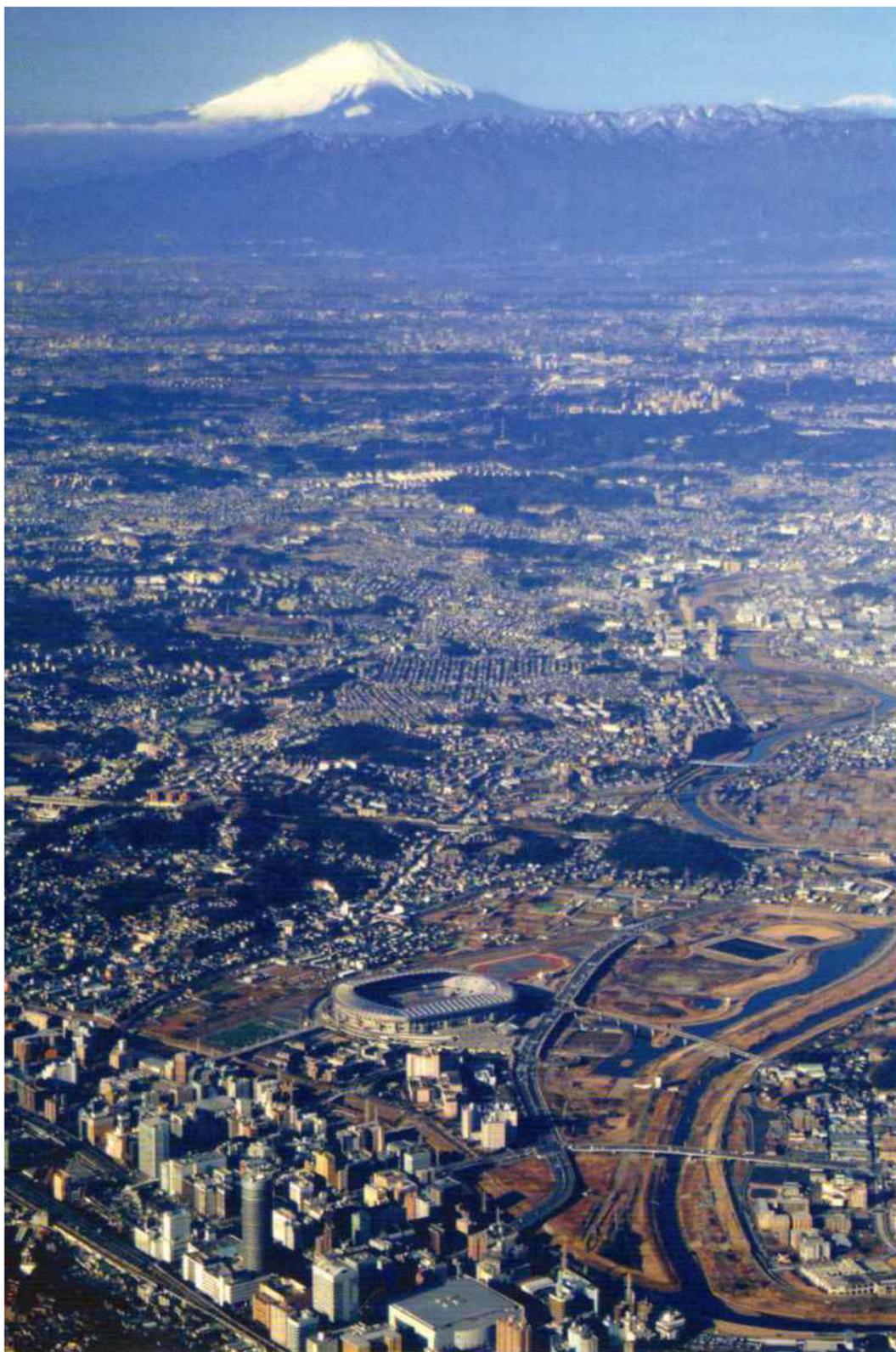
さらに後期高齢期を迎えたこれからも、4 年前に理事長職を引き受けた社会福祉法人（自閉スペクトラム症の人たち一人一人の長生き人生の良き伴走者としての役割を果たせるよう努めています）というわらじを履き続ける事になります。

原稿を依頼された内容は「みんな、どげんしようとかいなー」という事でしたが、これだけは「私は、こげんことをしよっとですヨー」になってしまいました。琴風の原稿にふさわしいのかまったく自信がありません。

ただ原稿を書くにあたり琴風に目を通しましたら 50 年以上前にタイムスリップし、子々川での合宿風景が思い浮かび暫しなつかしい気分になりました。

最後になりましたが琴風会会員の皆様のご健勝を祈念致しまして琴風の原稿とさせていただきます。

—完—



横浜駅周辺（八島亭より徒歩10分）・国際総合競技場・富士山

## 近況のご報告

昭和 50 年入部 大久保 通

いつもご連絡をいただきながら、大変ご無沙汰をして申し訳ありません。この度、貝原さんより近況をとということでご依頼いただき筆を執った次第です。

現在、和歌山県那智勝浦町の色川というところに住んでおります。大学を卒業して東京で 13 年暮らしたのち、こちらに来て 25 年になります。有機栽培でコメや野菜、お茶、果樹などを作って自給的な田舎暮らしをやっています。東京時代やっていた経営コンサルタントの仕事も地元県内でぼちぼちやっていますが、都会と違って地域の行事や活動が多く、ここ色川地区はとくに I ターン者を多く受け入れており、移住受け入れ事業にもかかわっています。

東京にいるときは江ノ島で数年間ヨットクラブに入って毎週通っていましたが、こちらに来てから全く乗っていません。那智勝浦町にもプレジャー用の港があり管理料は破格値で、ヨットとやる気と仲間がいれば海に出たいと思います。

令和 2 年 3 月



茶畑



棚田



しめ縄づくり体験



色川地域活動の役員会



神社のもち放り行事



餅つき

## 40年振りの国体予選

昭和52年入部 貝原 宗重

大村湾から470セイラーが世界に飛び立つ日をゆめみ、琴風会費集めから艇庫の掃除まで請け負っている小生の思いも知らず、学生たちは子々川艇庫の周辺をsailingすることで満足している日々。現役のとき“オリンピックを目指さんば”と太っ腹の先輩たちに夢を見せていただいた我々世代には、刺激のないことこの上なし。

2019年7月渋る現役を引き連れ、まずは国体からと長崎県国体予選に参加することとなった。子々川からは、2年生ペアー、岡田&水産5年生、貝原&工学部4年生の470級3艇が出場。

予選第一日は、激しい雨と8m超の突風のなか、準備旗が上がりスタートラインに並んでいる間に本船が風にながされスタート延期を繰り返す。最後にはH旗&A旗となり冷たい雨の中、福田サンセットマリーナに着艇。

予選第二日、前日とはうって変わり3m未満の風、なんとか2レースが消化され岡田・水産5年生チームが茨城国体キップを獲得した。小生のもくろみ“学生を世界に！”は、60歳をすぎても負けん気の強い岡田スキッパーの前に、もろくも崩れ去ってしまった。岡田監督曰く“学生は実録（実力の言い間違い、やはり年には勝てず）でいかんば”。

国体予選には、総科大学OB：古賀さんも現役のクルーとして470級で参加し、最後までトップ争。貝原・工学部4年生チームは最終レース最終レグでトップにたち国体キップ目前。もくろみ通りに現役にトップを譲ろうとゴール前でスピードを落とした間に、なんと岡田・水産5年生チームがトップの座をもぎ取ったのである！

福田サンセットマリーナ、茨城国体での写真（迫先輩撮影）を掲載します。茨城国体には長崎県セーリング連盟会超、江上先輩も登場です。





松田君・岡田選手



総科大:古賀さん



山本君・貝原選手



2年生チーム、井上君・丸山君



岡田選手・江上 NSAF 会長



江上 NSAF 会長・大熊典子さん・Photographer: Dr. HAZAMA



愛媛県・大三島の宮浦港に入港する〈のふ〜ぞ〉(X-410D)。  
二つのレース参加を目的とした春の遠征に同行し、回航を兼ねた  
〈のふ〜ぞ〉のクルージングノウハウを教えてもらった  
photo by Fujina Moriguchi (kazi)

# クルージング 流儀



# Style 1

## 伊豆、瀬戸内、そして九州 日本中の島々をめぐる

レポート・写真=中島 淳(本誌)  
report & photos by Jun Nakajima (Kazi)

時間的な余裕の生まれるリタイア後に、のんびりと日本各地の島をフネで訪れる。  
そんな憧れのクルージングライフを送っているのは、千葉県在住の田中 洋さん。  
現在のホームポート、九十九島パールシーマリーナ(長崎県)から、  
キリスト教関連の歴史遺産が点在する五島列島に向かうクルージングに同乗した。

### 島好きがはまった 平戸島とガルフ諸島!?

「今までにこのフネで何十という島を訪れてきましたが、私がとにかく島に魅力を感じてしまうのは、大学生のときにスナイプ級5隻で仲間と出かけた平戸島一周クルージングが、本当に楽しかったからかもしれないですね」

そう話す田中 洋さんは、筋金入りの島旅愛好家。愛艇の〈Yukikaze〉で島を目指すのももちろん、フェリーやオートバイでも島を訪れるのが、とにかく楽しいという。これまでに50以上の島を訪れた。

「島の民俗学とか社会学とか、その島ならではの歴史を思い描くのが好きなんです。もう、島という島すべてが好きですね」

18歳~20代でスナイプやシーホースなどのデインギに乗った後、約25年のブランクをへて、48歳のときに再びヨットにはまるきっかけとなったのも、やはり島。

「北米に勤務していたときに、勤続25周年で、1週間の休暇をもらいました。そのと



田中 洋さん(71歳)  
〈Yukikaze〉  
(ベネトウ・オセアニス323)

山口県出身、千葉県在住。大学時代は長崎大学ヨット部でスナイプ級に乗る。その後、約25年のブランクをへて、40代後半からクルージング中心のヨットライフを再開。関東在住ながら、長崎県の九十九島パールシーマリーナに愛艇(〈Yukikaze〉(ベネトウ・オセアニス323))を置き、クルージングを楽しんでいる。通称、洋(よう)さん。

き、カナダ(バンクーバー)の『ウインドバレーセーリングスクール』でガルフ諸島を旅しながら学べる1週間コースがあることを偶然に知り、参加しました。そこで、ガルフ諸島の魅力にぞっこんになってしまい、25年ぶ

りにヨットへの情熱が再燃したんです。最初のきっかけが18歳のときの平戸島で、転機となったのが30年後、48歳のときのガルフ諸島です。不思議なものでね」

ウインドバレーセーリングスクールは、日本人のボブ・センドウ氏がカナダ・バンクーバーで主宰するヨットスクールで、バンクーバー周辺(ブリティッシュコロンビア州)の多島海を旅しながらクルージングの技術を学べるのが特徴。日本人の受講生も多い。

その後、ウインドバレーセーリングスクールが運用していたセーリングに関する国際的資格プログラム「ISPA」のプログラムを次々と受講してセーリングクルーザーの技術を磨いた田中さんは、61歳のとき、ついにISPAのインストラクター資格まで取得。島への情熱おそろべである。

### 島を目指すために、 ホームポートを転々と

ちょうど60歳のときに現在の愛艇〈Yukikaze〉を手に入れた田中さんは、



2016年の夏から田中さんが愛艇のホームポートとしている九十九島パールシーマリーナ

五島列島の野崎島。写真上部には、江戸時代の禁教令を解かれたあとの1908年に、かつての隠れキリシタンの住民が完成させた旧野首教会が行む。周辺の集落跡は、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つである

photo by Shigehiko Yamagishi (Kazi)



Kazi 2019 131



パールシーマリナーを出港して約1時間、松浦島の入り江のアンカリングスポットに到着



ふだんはシングルハンドの田中さん(下)だが、今回は、ISPAインストラクターで同姓の田中利親さん(38歳)が同乗



地元のセーラーが設置した係留ブイを拾って……。つかの間のコーヒープレイク

## (Yukikaze)の CRUISING TIPS ①

### ナビゲーションはデジ／アナハイブリッド

(Yukikaze)は、レイマリン社の航海計器とGPSプロッターを装備。事前の航海計画を立てるときは、タブレットPCで「Navionics」というソフトを活用している。加えて、海図とSガイド、潮汐表を常備。九十九島の海域は潮流が速く、狭い水道も多いため、潮流の把握は重要だ。



海図にも事前に調べた航行ルートを綿密に記入



レイマリンの航海計器に加え、オートパイロットも装備



出航直後のGPSプロッターの表示画面

神奈川県横浜を拠点に約6年間、伊豆諸島などをたびたびクルージング。伊豆半島や三重県の伊勢志摩エリアにも足を延ばすも、クルージング目的のバリエーションに限界を感じ、香川県の仁尾マリナーにホームポートを移す。仁尾マリナーといえば、日帰り圏内に多くの島々がある、クルージング愛好家に人気のマリナーだ。この地を拠点に約2年間(2014～2016年)、瀬戸内海の島々を満喫した。「2014年にセミリタイアして、ヨットに使える時間が増えたので、瀬戸内海の島々を見てやろうと思っていました。20～30の島に寄港したと思います。2014年に行われた、瀬戸内国際ヨットラリーにも参加したんですよ」

日本の島めぐり拠点としては、ほぼ最高と思われる瀬戸内海中部から、さらに田中さんはホームポートをお引越す。その先は、大学生時代に初めて島クルージングの楽しさを知った、長崎県。県内の多くのマリナーの中から田中さんが選んだのは、その名の通り隣に無数の島々が連なる「九十九島パールシーマリナー」。九十九島の複雑なリアス式海岸を楽しむのはもちろん、この場所を拠点に、対馬や壱岐島、五島列島、天草諸島、甕島列島を目指す、島フリークにとっては夢のような立地である。

「ここが本命でしたね。この九十九島からだ、鹿児島や沖縄の島々も“圏内”に入ってくるんですよ。リタイア人生の前半は九州でフネに乗り、後半は、海が穏やかな瀬戸内海に戻るつもりです」

## 〈Yukikaze〉の CRUISING TIPS ②

### ワンラインドッキングをフル活用

着岸時にフネを一時的にとどめる方法として、田中さんがセーリングクルーザーの運航を学んだISPAでは「ワンラインドッキング」を推奨しており、田中さんもあらゆる場面で活用している。



着岸時は、船尾から全長の1/4程度の場所からとったロープを最初に固定する



舵を中立にして、エンジンのシフトを微速前進に入れておくと、バウが離れないで保持できる



落ちていてバウ側の係留ロープを固定することができる

### 天候、風向によって 自由に選べる目的地

今回の取材では、いくつかの島に立ち寄りながら、五島列島を目指す。

「この最大の魅力は、自由に走り回れる楽しさです。クルージングは自由でなければいけません。その日の天気や風向に



世界遺産の構成資産がある黒島に寄港。豊田気のいい広々とした港だった

九十九島の海域では、島と島の間の狭い水路を抜けるようなこともしばしば



よって目的地を変えられる楽しさが、この海にはあるんです。北には平戸島、西には五島列島、南には天草諸島や甕島……東西南北のうち西、南、北に行ける島があるんです。風の強い日に無理して風上の目的地を目指す必要なんてありません。しかも、短距離、中距離、長距離で目指せる島のバリエーションもある。こんな場所、日本でほかにありますか？ 私はここを日本のプリティッシュコロンビア州だと思っているんです！」

近年、リタイア世代の増加により、東京や大阪の大都市圏のヨット、ボートオーナーが、ロケーションのいい海を求めて、瀬戸内海や九州、沖縄のマリーナに愛艇を置くケースが増えている。とはいえ、田中さんの自宅がある千葉県から遠く離れた長崎県のホームポート。通うための交

通費の負担は大きくないのだろうか。

「日本航空も全日空もシルバー割引のような制度があって、日を選べば1万数千円で羽田から長崎まで来られるんですよ。そしてこの九十九島パールシーマリーナの係留料は、このフネ(32ft)で20万円弱。関東で同じサイズを置くとしたら80万～100万円。差額で十分に航空券代が出ます。リタイア世代の特権ですね」

確かに、差額で何十往復もできてしまう。しかも、基本的にフネ泊まりの田中さん(昨年は約70泊!)は滞在費も安い。まさに、真似してみたいライフスタイルだ。

### 九十九島の狭水路から 世界遺産のある 五島列島へ

取材当日の航程は、九十九島パールシーマリーナを出港して、周辺の島々の入り江を探索。その後、寄り道をしながら、五島列島の中通島<sup>なかつとら</sup>を目指すコース。クルージングは自由でなければいけないという田中さんのモットーに従い、予定をフレキシブルに変更しながらの船旅となった。

まずは、マリーナを出ると次々と現れる島々の間を縫う。途中、「TASAKI(田崎真珠)」の養殖いかだの横を通過した。真珠の養殖には、穏やかな海でありながら水の循環がいい切り立った海岸線、いわゆるリアス式海岸が向いているとされている。こうした特徴を持つ場所は、三重県の伊勢志摩エリアにも共通で、風向こ

雨が降ってきたのでビミニトップを展開し、一路、五島列島へ



そ安定しないものの、フラットな海面とダイナミックな風景の変化がある魅力的なクルージングエリアとなる。

そうこうするうちに、地元のヨットマンが開拓したという、松浦島の深い入り江の奥の、秘密のスポットに到着。出航してまだ1時間もたっていないのに、日本国内ではあまり見られない、周囲を崖に囲まれた不思議な景色のアンカリングスポットに到

着してしまった。係留ブイを拾ってフネをとどめて、一息つく。

次に訪れたのは、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の集落がある黒島。雲行きがややしくなってきたため、ここでドジャーに加えてビミニトップをセット、五島列島への20マイル強の海峡横断に備える。針路を西に取り、約3時間で海峡を越え、五島列島に



世界遺産の構成資産「頭ヶ島の集落」の沖に到着。この集落は陸からのアクセスが非常に悪いため、隠れキリシタンの絶好の居住地となった

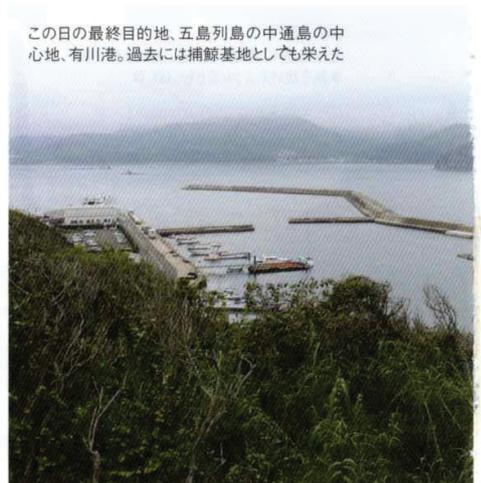


世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「頭ヶ島の集落」にある石造りの頭ヶ島天主堂（1917年に完成）

到着した。まずは、田中さんが以前から視察したかったという頭ヶ島の岸壁の様子を確認。この頭ヶ島の天主堂（教会）を中心とする集落も、前述の世界遺産の構成資産となっている。その集落の目の前にある防波堤の内側に、ヨットを一時係留できるか、以前から検証してみたかったと田中さんは話す。無数にある島々と入り江から、新たな係留場所やアンカリングスポットを探すのも、多島海とリアス式海岸の楽しみなのかもしれない。

頭ヶ島の岸壁近くは残念ながら水深が不十分で、係留は断念。この日の最終目的

この日の最終目的地、五島列島の中通島の中心地、有川港。過去には捕鯨基地としても栄えた



## 〈Yukikaze〉の CRUISING TIPS ③

### 岸壁係留は事前の準備が大事

島クルージングの係船場所は、ほとんどの場合、漁港や商業港の岸壁になる。あせらないように事前の準備をしておくことが重要だ。



左：いきなり着岸せず、事前に港内を一周して、リングやピットなど係留金具の状態を確認する  
下：フェンダーは大きめのものを用意して、港内の広い場所で取り付ける



〈Yukikaze〉の場合は、バウのステムにもフェンダーを装備している



長時間係留する場合は写真のようなフェンダーボード（板）も有用だ



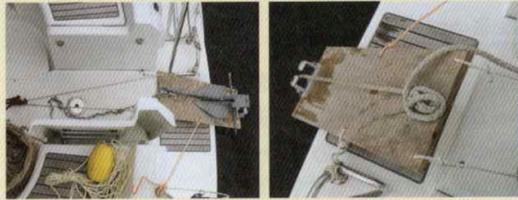
漁師などのトラブルを避けるため、長時間フネを離れる場合は連絡先を掲示

〈Yukikaze〉の  
**CRUISING TIPS ④**

**田中さん自作のアイデアグッズたち**

① 桮着けアンカー準備セット

桮着け係留時にアンカーとチェーン、ロープなどを準備しておくセット。スイミングステップに設置した板のクリートにアンカーを設置でき、ロープも仮止めできる。

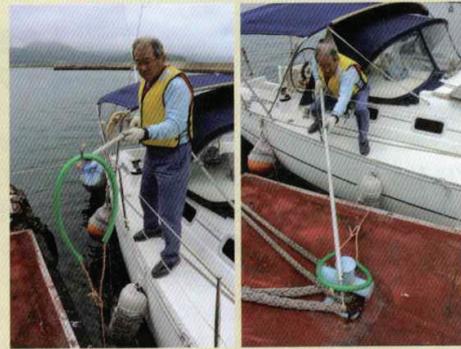


② 岸壁の係留リング引っ掛け棒

こちらも桮着け着岸時に使用。先端の金属フックと、岸壁にあるリングに届くための棒、そして手元側はフネにクリートするためのロープにつながっている。

③ ホースに通すだけで……

係留具がビットやボラードの場合、着岸時に1本目の係留ロープを、フネから降りずに固定するためのロープ。ホースに通して輪を作っただけのものだが、ボートフックを使えば、ご覧の通り。



地である中通島の有川港へ向かう。有川港では観光船が使用する浮棧橋に仮係留した後に、漁港事務所を訪ねると、幸いにも別の大きな浮棧橋への係留を指示された。料金は1泊140円なり。最終的にずぶ濡れになってしまったこの日は、有川港の近くの居酒屋が経営する民宿に宿泊。地魚の刺し身や五島うどんを堪能した。

**島をめぐる、港を探す  
尽きない島への憧れ**

たった1日、しかも曇天と雨天のクルージングに同行しただけでも、九十九島、そして五島列島のクルージングエリアとしての魅力に十分触れることができた。それぞれの島にはそれぞれの歴史と文化があり、近隣の島々を味わうだけでも5年くらいかかりそうだ。生粋の島フリークである

田中さんが選んだ場所なのだから、それも当然なのかもしれない。

「瀬戸内海もいいですが、こちらのほうが自然がケタ違いに豊かです。まだほかに廃屋が立ち並ぶ不思議な場所があったり、野生のシカがたくさんいる島があったり、いろいろご紹介したいのですが……」

島を語る田中さんの話は尽きない。ちなみに、周辺の島々には、浮棧橋が整備されたマリーナはもちろん、漁港

の岸壁への係留がほとんど。寄港できるかどうかは、入港ルートの水深や港の施設を調べて、自分で判断するしかない。電話一本で係留場所の予約ができる民間マリーナのような場所とは対照的だが、お気に入りの島を見つけるための下調べを含む「開拓」も、きっと島旅の楽しさの一つなのだろう。

田中さんは今後、二度目の鹿児島トカラ列島や沖縄を目指しつつも、日本海を北上して島根県の隠岐諸島を訪れたいという。

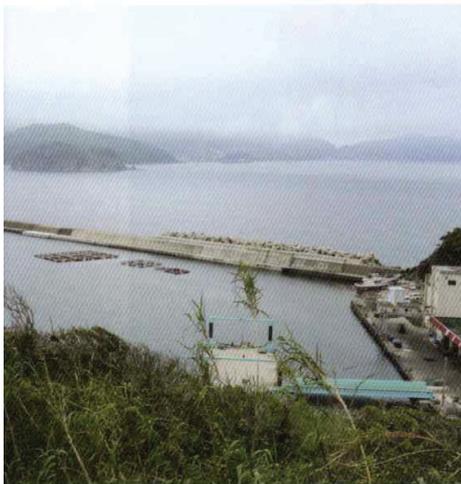


photo by Hiroshi Tanaka  
漁協に係留場所として指示されたのは、25mもある大きな浮棧橋

豊富な地魚  
上：クジラカツ  
左：ツルツルの五島うどん

## 2019年度 活動報告書

2019年	活動	場所
5月2日～5日	西日本インカレ 国際470級	福岡市立ヨットハーバー 小戸（福岡）
7月6日～7日	九州インカレ個人戦 国際470級	福岡市立ヨットハーバー 小戸（福岡）
8月23日～25日	九州インカレ団体戦 国際470級	鹿屋体育大学海洋スポーツ センター 鹿屋（鹿児島）
10月30日～11月4日	全日本インカレ団体戦 国際470級	新西宮ヨットハーバー （兵庫）
12月21日～22日	九州大学・京都大学 長崎大学合同合宿	福岡市立ヨットハーバー 小戸（福岡）

遠征に伴う艇輸送費用は、先輩皆様のご寄付・会費より捻出いただきました。

### ありがとうございました！

国際470級・国際スナイプ級の両クラスともに全日本インカレでトップ10に位置する九州大学ヨット部、京都大学ヨット部(2019年度全日本インカレ国際スナイプ級団体戦優勝)との合同合宿は、2日間と短いものでしたがヨットを走らせる以外、セーリングに備える陸上での心構えについても多くの収穫がありました。

この合宿で得たものをレポートしましたので、先輩みなさまへのお礼を込めて掲載させていただきます。

現役部員一同より

\*全日本インカレの成績は、残念ながら出場24校中、最下位の24位でした。  
少しでも上位となるよう日々の活動に励みます。

\*成績表は、ホームページ“長崎大学ヨット部琴風会”の琴風誌に掲載していますので  
ご覧ください。

## 九州大学との練習を経て

工学部 4 年 2020/01/03 山本茂晴

今回、12/21,22 におこなわれた九州大学と京都大学との合同練習に混ぜていただきました。自分は陸待ち要因として参加し、海上での様子は見るができなかったのですが、それでも多くのことを学ぶことができたように思います。まず簡単に練習の流れをまとめました。正確な時間は控えていなかったため、参考程度にお願いします。

表 1 練習の流れ

	12月21日	12月22日
8:00	集合	集合
8:45	準備体操	準備体操
9:30	出艇	出艇
12:00	着艇	着艇
12:15	昼食	昼食
13:30		出艇
16:30	ミーティング	着艇
17:00		ミーティング
18:30	解散	解散

8時の5分前には集合し、8時ちょうどに時計合わせを兼ねて秒読みをし、その後部員の点呼、今日の配艇、470/snipe ごとの練習内容、今日の天気、風、潮の予報を伝え最後に主将からひと言と次の集合時間といったようにそれぞれの担当がとてもしズミカルに素早く要点だけを踏まえてミーティングが終わりました。次の集合までに艀装は終わらせて着替えておき、ライフジャケットも着用してスロープ前に集合。この時、準備運動をし、主将はライフジャケットの着用確認や全員が緊急時のための笛とナイフを所持しているかを確認したそうです。準備運動を終えたら、次の集合の時には艇をスロープに持っていき、円陣を組んでからセイルを上げ出艇。そして、12時に着艇するまでにマネージャーが買い出しに行きお昼ご飯を作り、着艇したら昼食を食べ、また出艇。午後着艇したら解装、ミーティングをして、最後輪になってストレッチをして解散となりました。解散の時間は18:30にハーバーが閉まるため、18:30数分前にきっかり終わるようにそれぞれの時間が調整されていました。また、初日は風がなかったため午後は長めのミーティングをしました。ミーティングの様子については後述します。初日も二日目も大体先に述べた流れで練習をしていて、集合時間に遅れないように集合までの時間を随時確認し（“集合まであと10分!”“はい!”といったように）出艇前の円陣や着艇の際 陸待ちも声掛け（“してーい!”“お疲れ様でしてーい!”）を徹底していて、決して殺伐とした雰囲気は感じられませんでした。

初日の午後に行われたミーティングでは、まず全体で。次にクラスごと、艇ごと、最後にクルー/スキッパーごとで行いました。ミーティングは主将が指揮を執り、全体で行うときは支援艇からの所感と全体に通して言えることを、クラスごとと同様にしてい、各艇での反省をしました。クルーでのミーティングでは（自分はクルー側のミーティングに参加させていただいたので）各々が持っている疑問点をクルー同士で話し合い解決するといった形で行われ、他のクルーがどうしているかの意見交換もできるのでとても有意義なミーティング方法だと感じました。また、それぞれ随時時間を決め、足りないようなら延長してといったように無駄な時間が生まれないように進行されていました。

今回の練習を通して、メリハリをもって行動することが徹底されているように感じました。出艇の際も細かく集合時間を設定しその間にこなすべきことを確実にこなせるようにすることで全員が同じタイミングできちんと出艇でき、チーム全体に統一感が出ていました。また、一日の練習にメリハリを持っているのもそうなのですが、一年間の練習についても工夫があり動作、戦略、戦術など大会に合わせてタームを分け一度にあれもこれもではなく、この期間の間に動作を完璧に次の期間では戦略をとったようにそれぞれの期間で達成すべき目標を定めそれを確実に達成し次に持ち越さないようにしているそうです。これはこれまでの研鑽が受け継がれているからこそできることだと思うので、そっくりそのまま自分たちの練習に当てはめることはできないかもしれませんが、大きな目標と期間を設定してそれについていくつかの下位目標を定めて行動し部全体の統一意志を自覚して練習することはモチベーションの向上・維持にもつながり大いに役に立つかなと思います。そして学んだことや感じたこと、試したことを口伝だけでなくしっかり文字や動画など形として残しておくことでたとえ人が少なくなっても下の世代につなげていけるのかなと思います。そういったことの積み重ねがメリハリを持って練習をすることにつながっているのではないかと思います。

最後に九州大学は大会の時、大きな声で声掛けをしていて圧倒的な存在感を放っていてカッコいい程度の認識だったのですが、この声かけは練習の時にも徹底して行われ、一緒に練習してみるとすごく練習しやすいいい雰囲気を維持するのに必要不可欠なもののように感じました。自分たちはこれまでなんとなくの目標を自分なりに持って練習して、練習中きついときは黙ってしまうことが多くきちんと大会に向けた練習をしようとするや殺伐としてしまい、そういう雰囲気を嫌う部員がぬけていってしまうといったことが多々あり、それはしょうがないとあきらめていました。ですが、今回の練習を見て強豪校でもだらけはせずそれでいて締めすぎないちょうどいい雰囲気で練習していることが分かり、それに少しでも近づけていけたらなと思いました。そのためにも全体の統一意志をさだめ、それに向けて日々の練習に励んでいけたらなと思います。

今年度は1,2年生しかいなかったため新しいことを試す余裕はなかったのですが来年からは3学年になるので多少は余裕が出てくるかなと思います。今回の練習で学んだ技術的なことだけでなく、部の運営の工夫などについてもまねてセーリングの上達につなげていけたらなと思います。

## 九州大学・京都大学との合同練習を通して

主将 丸山浩希

この有意義な合同練習を通して学び、感じたことは数多くあった。それは、自分のヨットにおける技術面の話や、主将としての目線では、各部員への役割分担の細かさや部全体としての動きや意識、他にも他大学の人と話していて感じた人間性の高さ。ここでは多くは語らないが、貴重な経験だった。この合同練習を自分が感じた3つのキーワードとともに振り返り、今後の活動に活かせるようにしていきたい。

さっそく、一つ目のキーワードについて。一つ目のキーワードは『目標』である。何事にも自分なりの目標や、団体としての目標が必要だが、今の長崎大学ヨット部にはそのような具体的な目標がないように感じている。各個人はそれぞれで目標を掲げているかもしれないが、それも自分の中で完結してしまっており、あまり効果がないと思う。九州大学は部全体の目標として日本一を、各個人では学年ごとにホワイトボードに自分の目標を書き、言葉として表すことでより練習の目的が分かりやすくなっていた。また、その目標を支援艇に乗っているマネージャー等に渡すことで、各個人が目標にあげている点の指摘や、動画をとるということができている。これらのことを長大ヨット部でも取り入れていきたいと思う。

二つ目のキーワードは『ミーティング』である。先に述べた目標を持ち、それに関する話題やそれには関係ないような話題であっても、言葉にして部員と共有することはとても重要なことだということは分かっていた。

しかし、この合同練習に参加してみて感じたのは、ミーティングがとても多く行われているということだ。九大がやっていたミーティングは、ポジション別、クラス別、ペアごと、、、のように様々なグループ分けで行われており、それに加え「かたりば」というヨットに関係のない話題も話す機会がもうけられていた。そしてミーティングだけではないがそれらをうまく組み合わせることで、時間の有効活用ができていた。このミーティングに関しても自分たちにあった形で取り入れていきたい。

最後に三つ目のキーワードだ。それは『雰囲気』である。決して自分たちの雰囲気が悪いとは言っていないのだが、全体的な一体感は倍以上の人数差があるのに九大のほうがあると思う。その一体感を出しているのは、先に述べた目標やミーティングではないだろうか。これも取り入れていくつもりだ。ほかにも様々なことがあったため、自分なりに消化して還元していきたいと思う。とてもいい合同合宿であったと感じている。

また、今回この合同合宿を行う上で様々な方に協力やサポートをいただいていることは忘れてはならないことだと思う。本当にありがとうございます。今回に限らず、インカレ、普段の練習においてもそうである。感謝の気持ちを忘れずに、ヨットを楽しみたい。

## 合同合宿レポート in 小戸

4454 スキッパー 野原ひかり

今回、12/21,22 に九州大学と京都大学と合同合宿を行った。今回の合宿では今まで自分たちが知ることの出来なかった多くのことを吸収することが出来た。例えば、これまで身内の中で何も確信を持てなかった私たちが新しい世界を知ることが出来た、初めて海外に行って、こんな世界があるんだと思うそんな感覚だった。いい意味で、自分たちも真似したいと思うこともあったし、自分たちには必要ないなと思ったこともあった。

具体的に、九州大学の練習を見て思ったのは、団体として行動しているということだ。他の人の感想にもあったように、集合や艀装の時間などきっちり決められていた。団体行動することによって、みんなの意思が団結できるし、効率よく動くことが出来ていた。あそこまで時間配分をきっちり決める必要はないと思ったが、毎回、何をするか大体のルーティンの中で部活を進めていくのはとても大切だと思った。一番、大切だなと思ったのは話し合いの時間を多く作ることだ。クラス別、スキッパー、クルー別、語り場（学年、クラス関係なく1つのテーマについて話し合う場）など多くの、話し合いの場があった。ヨットのミーティングについても、多方面から様々な意見が飛び交っていて有意義な時間だと思った。また多くのOBさんが練習に来られていて、多くのアドバイスをされていた。あるOBさんの言葉ですごく心に残ったのは、ミーティングで「～を意識する」という言葉をあまり使わず具体的にどのようにするかを決めることが大切だということだ。例えば、「ヒールを意識する」のではなくヒールさせないためにどのようにするのか具体的に考えるということだ。これはヨット以外でもそう言えると感じた。

ヨットの技術に関しては、全体的にコントロールロープを細かく使用していた（特に強風）。初日は微風で、①ヒール②スピンプールの高さ③スロットル④角度 この4つを意識して走っていると教わった。微風のオーバーヒールのかけ方や、スロットル、リーダーの調整など多くのことを事細かく教えてもらうことが出来た。また、普段私たちがあまり触っていないブライダルの調整やセンターボードのトリムなど、これから挑戦したいこともたくさん教わった。

今回の合宿を終えて私たちが学ばなければいけないことは、他の大学と比較することで、自分たちに何が足りていないか、また、何が必要かをみんなて話し合いながら、見極めることであると思う。他大学の良い点をすべて真似するのではなく、自分たちの環境にあった方法で長期的に変えていく必要があると思う。もちろん、長

崎大学の良さも残しつつ、楽しむことを忘れないように。今の長崎大学ヨット部の良さは伸びしろがたくさんあるところだと思う。これからいくらでも変えていける。成長できる。この良さを十分に生かして、今しかできないセーリングを楽しみたい。

## 九大・京大合同練習

2年 川上 裕生

今回、九大・京大との合同練習という、今まででは考えられなかった貴重な経験ができた。合同練習を通して様々な反省点、学ぶべき点などがあったが、それに関しては他の部員が記述してくれているので、私は私自身について記述していこうと思う。

私は入部から約1年間はクルーとして470に乗っていた。そして、スキッパーもしてみたいと思い、2年の5月頃から約7カ月間スキッパーをしてきた。今回の、合同練習に関しては、他大の動きを見やすいという理由からクルーで乗った。クルーを1年間して、一度スキッパーを経験した状態で、もう一度クルーとして乗ったとき、今まで分からなかったことが分かるようになり、特に、どうすればスキッパーと息を合わせやすいか、どう動けばスキッパーが動きやすいかなど、スキッパーの目線を併せ持ちながら動くことが可能になっていた。何よりも、スキッパーをしていた時よりも、クルーのときのほうがいい動きができるように感じた。

他大の艇のクルーの動きを見ても、タックやジャイブ、ヒールトリムなど、艇の操縦をするのはスキッパーだが、艇を動かすのはクルーなのだと感じることができた。1年の時はヨットについての知識が少なく、経験も皆無だったが、今は自分の考えで率先して動けるようになったことで、よりクルーワークが楽しく感じることができ、なおかつ自信が生まれた。九大・京大でタックやジャイブのやり方はまちまちではあるが、一様に動きの速さが長大とはけた違いであった。ただ、自分が到達できない動きかといわれると、そうとは思わなかった。自分たちよりも強い大学の動きを見て、他の大学との差を感じたものの、むしろ近くで見ること、同じ大学生であり、決して到達することが不可能なものではないということが分かった。

では、どうすれば九大・京大のようにになれるのか、他の部員も記述していたが、私はその日の目標をあらかじめ決めておき、その目標にあった練習を行う時間を設けたり、その日の練習メニューの中で、その目標だけでも達成できるように練習してることが大切だと思った。琴風で目標に応じた練習風景を録画し、その後部員全員でその動画を見ながら講評をしていく必要もあると思う。その繰り返しで、一つずつ、他大に近づいていけると思う。

今回の練習を通して、私は今後スキッパーとして乗るのか、クルーとして乗るのか、今一度考えることになった。自分の背丈や体重では、クルーには向いていないのは理解しているが、そこは食トレや筋トレで補っていこうと思う。今まで、持っていた艇はスキッパーが動かすという固定観念は捨て、自らが艇を動かせるようなクルーになっていければいいと、今回の合同練習で思った。

## 合同合宿を終えて

1年 北野響子

私は今回の合宿の話聞いたとき、はじめは正直不安が大きかった。すでに参加すると決めていたのは大会に出場していた部員ばかりで、知識も経験も差がある中私が参加しても足手まといになるのではないかという思いがあった。しかし、ただでさえ差があるのにこの合宿に参加しないことでさらに差がつけられてしまうのはもっ

と嫌だと思い、参加することを決めた。結果としては参加して本当に良かったと思う。私は九大の救助艇に乗っている時間が長く、その間九大のOBさんやマネージャーの人から様々な話を聞くことができた。OBさんには主に技術面での質問をし、その中には初歩の初歩のような質問をしたと思うがとても細かく教えていただいた。私はスキッパー志望なので上手いスキッパーがいる艇に近づいて説明してくださったり、私が470に乗っているときも後ろからずっと指示を出してくださり、特にいまいち苦手だった下りの際には今まで知らなかった気を付けなくてはならないことをたくさん教わった。

また、今回の合宿で印象に残ったのが九大のマネージャーについてだ。部署に分かれて活動している、など組織力には驚かされたが食事の用意やトレーニングの管理など選手の負担が圧倒的に少ない点がとても魅力に感じた。かわいくて気配りもできて、一見華奢なマネージャーがぐいぐいアンカーをあげる姿はとてもカッコよかった。

ほかにも、ミーティングの量と質の違いも印象に残った。他の部員も書いていたが朝のミーティングで天気図や配艇や練習メニューが発表され、その後も出艇するまで何度か集合がかかる。練習メニューはクラスリーダーが数日前に集まって考えていると聞いた。私ははじめ何度も集まることで無駄に時間を食うのではないかと感じてしまったが、そうすることで全員の準備の時間に差を無くすことができると分かり、とてもいいことだと思った。また一番出艇が良いこと、という認識が九大にはあるように思った。練習後のミーティングも今まで長大が行ってきたペア同士の話し合いも大事だと思うが、さらにクルー同士スキッパー同士で話すこともかなり実のあることだと分かった。

あとひとつ、個人的に課題だと思ったのが筋トレだ。かつてない回数の腹筋を行い、数日間起き上がるのが困難な腹筋の痛みにおそわれた。しかし一見私と同じような体格の九大の方がらくらくこなしており、しかもずっと励まされ、ただただ情けないというか、筋トレを頑張らねばという気持ちが大きくなった。今回合宿に参加し、やはり思うようにヨットに乗れない焦りを感じたが、そんなとき九大のOBさんがこんなことを言ってくださった。「470に乗り始めた今とはとにかく知識をつけるとき。」私はこの言葉を聞いて焦りが少し無くなり、落ち着いて上手い人の艇を観察し話を聞くことができるようになった。いつまでも乗り始めたばかりだから、と断られていられないことは分かっているが今とはとにかく知識を増やしていこうと思った。今回参加できなかった部員にも得た知識を共有して、全員で強くなって楽しくヨットに乗り続けたいと強く思う。

## 九大合宿を終えて

水産学部1年 45119080 廣江 佑衣

今回の合宿は一言で言うと、ただただ「学び」の合宿になった。本当に学ぶことが多すぎてすべて吸収できたか不安なくらいだ。私にとってヨット部というものは「長崎大学ヨット部」しか知らず、他大学のヨット部とは交流ができる程度にしか思っていなかった。そんな時にこのような他大学の内側まで知る機会があったのはとても貴重なことで、ましてや一緒に練習、さらに九州大学、京都大学といった強豪校とできるなんて考えてもいなかった。

最初この練習があると聞いたときは長崎大学のような、言っては悪いが最下位を走っているあまり強くはない大学がこんな強豪校と一緒に練習など「え、大丈夫かな、失礼のないようにしないと……」ということばかり考えていた。しかしそれはみんなの言葉によって打ち消された。楽しんだらいい、同じ大学生だし仲良くなれたらいいと言ってくれてかなり心に余裕ができた。そんな状況で合宿が始まった。

早速合宿が始まると、長崎大学との違いがいくつもあった。特に注目したのは陸での行動だ。

まず朝のミーティングだ。点呼から始まり、連絡、練習メニュー、天気図の確認など、すごく細かく、詳しく

行っていた。天気図の確認などしたこともなかったので、毎回朝にみんなで確認を行っていたのは天気図の見方も分かるし、個人個人での相違がなくなるのでとても良いと思った。そして練習メニューも何時からタック練、何時から上下回航をするなど細かく決めることで効率よく練習を進めることができるのだと分かった。土日しかない貴重な練習時間を無駄にしないために効率を重視している点は必ず見習わなければならないと思った。

次に練習終わりはかなり長い時間ミーティングを行っていた。私たちも練習終わりには必ずミーティングを行っていたが、九大と違う点はいろいろなグループに分けてミーティングを行っていたことだ。私たちは一緒に乗っていた人同士で反省や疑問に対する質問を行い、そのあとに少し全体で共有をしていた。それに対し、九大はむしろその2人で反省をする時間は少なく、まず470級全体、次にスキッパーだけ、クルーだけといった縦割りでのグループ分けで反省を行っていた。要するに小さいグループだけで共有するのではなく、全体での共有を重視しているのが分かった。やはり個人の成長だけでは上位を目指すことは難しく、チーム全体でのレベルアップのためには、全体での共有が必要になるのだと実感した。

そして全体的に見て、すべてテキパキと時間通り動く、遅刻厳禁、といったように海でも陸でも時間に無駄がない印象が強かった。大会にいったときに艀装終了までの時間、解装終了までの時間を決めて大声で叫んでいたのは知っていたので驚きはそこまでなかったが、練習に参加してみるとやっぱりその場の雰囲気伝わってきて、ついていくのに必死だった。私たちも時間を決めて行動はしているが、やはり人数が少ないせいか、時間にルーズになっている部分もみられる。そのようなところも直していくことで練習時間もより長く、密度の濃いものにしていくことができると思う。

この合宿を通して、私たちにはまだまだ足りない部分があり、もっと改善していかなければならないところがたくさんあると実感した。またヨットのことに関しての様々なアドバイスはもちろん勉強になったし、これからの練習に生かしていきたい。しかし陸での行動、態度などのヨットに乗っていない場面を徹底して良くしていくことが、今長崎大学ヨット部がやっていかなければならないことだと思う。これらのことを頭に入れたうえで今後の練習に臨んでいきたい。

最後にこの合同合宿をお願いしてくれた先輩、一緒に練習させていただいた九大さん、京大さん、本当にありがとうございました。次は合宿へ成長した長大ヨット部を見せに行きましょう！

## 九大・京大合同練習

2年 川上 裕生

今回、九大・京大との合同練習という、今まででは考えられなかった貴重な経験ができた。合同練習を通して様々な反省点、学ぶべき点などがあったが、それに関しては他の部員が記述してくれているので、私は私自身について記述していこうと思う。

私は入部から約1年間はクルーとして470に乗っていた。そして、スキッパーもしてみたいと思い、2年の5月頃から約7カ月間スキッパーをしてきた。今回の、合同練習に関しては、他大の動きを見やすいという理由からクルーで乗った。クルーを1年間して、一度スキッパーを経験した状態で、もう一度クルーとして乗ったとき、今まで分からなかったことが分かるようになり、特に、どうすればスキッパーと息を合わせやすいか、どう動けばスキッパーが動きやすいかなど、スキッパーの目線を併せ持ちながら動くことが可能になっていた。何よりも、スキッパーをしていた時よりも、クルーのときのほうがいい動きができるように感じた。

他大の艇のクルーの動きを見ても、タックやジャイブ、ヒールトリムなど、艇の操縦をするのはスキッパーだが、艇を動かすのはクルーなのだと感じる事ができた。1年の時はヨットについての知識が少なく、経験も皆無だったが、今は自分の考えで率先して動けるようになったことで、よりクルーワークが楽しく感じる事ができ、なおかつ自信が生まれた。九大・京大でタックやジャイブのやり方はまちまちではあるが、一様に動きの速さが長大とはけた違いであ

った。ただ、自分が到達できない動きかといわれると、そうとは思わなかった。自分たちよりも強い大学の動きを見て、他の大学との差を感じたものの、むしろ近くで見ること、同じ大学生であり、決して到達することが不可能なものではないということが分かった。

では、どうすれば九大・京大のようにになれるのか、他の部員も記述していたが、私はその日の目標をあらかじめ決めておき、その目標にあった練習を行う時間を設けたり、その日の練習メニューの中で、その目標だけでも達成できるように練習していくことが大切だと思った。琴風で目標に応じた練習風景を録画し、その後部員全員でその動画を見ながら講評をしていく必要もあると思う。その繰り返しで、一つずつ、他大に近づいていけると思う。

今回の練習を通して、私は今後スキッパーとして乗るのか、クルーとして乗るのか、今一度考えることになった。自分の背丈や体重では、クルーには向いていないのは理解しているが、そこは食トレや筋トレで補っていこうと思う。今まで、持っていた艇はスキッパーが動かすという固定観念は捨て、自らが艇を動かせるようなクルーになっていければいいと、今回の合同練習で思った。

## 合同合宿 with 九大&京大

1年470クルー 近藤大

今回の合同合宿で得た一番のことは圧倒的危機感である。恥ずかしながらも九州インカレで上位に入ることを大雑把な目標にしていたが、とても今の実力では差がかけ離れすぎているのを実感した。ヨットの技術はもちろん全てで劣っていた。今までなんとなくやっていたロールタックや下手くそなスタート練習、今まで練習の意味の無さというか、身の無い練習というか、なんか時間を無駄にってしまった練習が多かったなと思った。そもそも、ロールタック一つとってみても根本的にやってることが違ったり圧倒的加速の差が生まれていた。技術的な反省をここで書いても共有した事実なので、自分が思ったことを反省していきたい。

まず、最優先で参考にしようと思ったのが安全な練習への取り組みだ。全員、ナイフと笛を常備し事故に備えていた。これは、いままで考えたことも無かったが大事なことだなと思った。

安全面以外で一番刺激を受けたのはモチベーションの高さだ。誰一人としてモチベーションが低い人がおらず、チームがまとまっていた。今、自分は大会や合同練習に参加させていただいていることでモチベーションは保っているが、こういうイベントに参加できない人は保てなくなるのも納得する。しかし、九大さんは全員のモチベーションを保たせ、練習の雰囲気は目を見張るものがあった。うちがモチベーションの低さは自明であり、誰とは言わないが幸せ太りして中年腹になってるスキッパーや、九大の筋トレのフリップ練習メニューに全く付いていけないナヨナヨな自分が意識の低さを物語ったっており反省している。ヨットへの熱情が足りてないと感じて恥ずかしくならいよう、九大さんを常に意識して練習しようと思う。

次に感じたのは大会に向けて大雑把な計画を立て、一人一人目標を持ってもっと練習していたことである。自分も練習前に目標を持って練習し、またそれを琴風の人と共有することで練習の質を作っていきたいと思った。係分けでは天気の子が天気について高気圧とか低気圧とか頭が痛くなる話をしていたが、とても面白そうと思うので勝手にやろうかなあと思ったりもしている。

今回の合同練習のおかげで得れたものは沢山あった。今回の機会を設けて下さった九大さんと京大さん、そして雄太先輩と貝原さんなど多くの方々に大変感謝している。今後、ヨットを上達させレース展開、戦術で楽しめるように練習に励みたい。



## 九大・京大合宿 2019 in 小戸

1年 スキッパー 金城伶旺

私の今回の遠征の目的は九大や京大などの強いチームが日頃、どんな練習をしているのか見学することと大会に行ったときに寂しくないように、否、わからないところが出てきたときに聞けるように知り合いを作ることであった。

私は他チームと長大で一番違い、見習うべきところはミーティングにあると思う。特に九大のミーティングが量、質ともに充実している。練習前に練習内容や天気のことを話し合うミーティング、体操をするとき、艀装完了したあと、メインセイルを上げて円陣をするときにそれぞれミーティングをしてそれから出艇する。着艇後は解装して集まり着替えた後、全体のミーティングを行う。なんと1日の練習の中で計9回もミーティングを行っている。

私が思うにこれらには大きく分けて2つの目的がある。一つはこまめに集まることで準備や片付けの進捗状況を合わせ出艇時刻やミーティングの時刻に遅れるメンバーが出ないようにすること。もう一つは、1日の反省をする全体のミーティングだ。これは長大もやっているが質が全く違うと思った。具体的には全体やペア別で行うだけでなく、ポジション別でも行っている。内容も技術的に足りない部分をできる人にやり方を聞いたり、その日に取ったビデオを見てフォームを確認したり、どうすれば速くなるのか議論しあったりという濃いものであった。この時期は動作の練習期間であるからロールタックのヒールは勢いよくつけるべきか体重でつけるべきかという議論や少しティラーに力を感じながらヒールを起こすのがいいのではという議論、上りすぎかどうかはテレテールではなくジブのはらみ具合で判断すべきという意見、センターボードで漕ぐため勢いよく起こすという意見を知った。

普段、他校と練習する機会が無かったため弱風の時はメインのカムをかけてタックをするだとか、ヒールを残したままスピポールを付け替えてジャイブをするというおそらく常識のことを知らずにいたのが分かった。正直、怖いと感じた。ししがわはいい練習環境であることは間違いないが他校と練習できないため、いろんな大学と仲良くなって情報を取り入れなければならない。そのために、今合宿の2つ目の目的である知り合いを作ることなどもなんとか達成できた。練習自体はひどいパフォーマンスしかできなかったが、他校の人に乘せてもらったり、話せたことなど他の部分で得るものが大きかった合宿だったと思う。九大の芝さんも貝原さんも言っていたが、速い艇はシンプルである。そのことを忘れず、頭でっかちとお腹ぽっちゃり（相方のクルーに言われた）にならないように新人戦までの練習に取り組む。最後に企画していただいた先輩方、援助していただいたOBさんの皆さんありがとうございました





## 西日本学生ヨット選手権大会

2019/5/2~5/5

福岡市立ヨットハーバー

最終成績

国際470 級						1R			2R			3R			4R			5R			6R			7R			艇			艇	総合	総合
艇順位	識別No	セールNo	所属	艇長	クルー	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	除外	得点	順位	得点	順位
3	7	4597		芝 洋斗	近藤 瞭	<u>13</u>	<u>13</u>	<u>13</u>	7	7	7	3	3	3	4	4	4	4	4	4	1	1	1	3	3	3	35	13	22	3		
9	8	4556	九州大学A	永野 俊輔	石原 大輝	6	6	6	10	10	10	8	8	8	3	3	3	6	6	6	11	11	11	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	56	12	44	9	140.0	1
15	9	4522		今西 健也	神川 光	9	9	9	<u>17</u>	<u>17</u>	<u>17</u>	5	5	5	16	16	16	14	14	14	14	14	14	16	16	16	91	17	74	15		
7	10	4468		市川 緋那	佐藤 拓海	4	4	4	5	5	5	10	10	10	13	13	13	1	1	1	<u>17</u>	<u>17</u>	<u>17</u>	10	10	10	60	17	43	7		
11	11	4307	九州大学B	森 ゆり奈	矢吹 創	<u>17</u>	<u>17</u>	<u>17</u>	14	14	14	17	17	17	9	9	9	9	9	9	4	4	4	15	15	15	85	17	68	11	167.0	2
10	12	4187		福本 航	添田 隼朔	12	12	12	9	9	9	4	4	4	14	14	14	<u>18</u>	<u>18</u>	<u>18</u>	12	12	12	5	5	5	74	18	56	10		
13	18	4542		鈴木 杏依子	市原 東	16	16	16	8	8	8	12	12	12	<u>17</u>	<u>17</u>	<u>17</u>	15	15	15	13	13	13	7	7	7	88	17	71	13		
14	19	4335	福岡大学	柴田 桂佑	河津 優理	8	8	8	18	18	18	<u>23</u>	<u>23</u>	<u>23</u>	12	12	12	8	8	8	5	5	5	21	21	21	95	23	72	14	180.0	3
6	20	4251		小村 凜平	木原 寛太	<u>14</u>	<u>14</u>	<u>14</u>	3	3	3	7	7	7	6	6	6	5	5	5	10	10	10	6	6	6	51	14	37	6		
12	23	4467		木田 拳太郎	石田 千尋	<u>18</u>	<u>18</u>	<u>18</u>	16	16	16	14	14	14	10	10	10	10	10	10	7	7	7	13	13	13	88	18	70	12		
8	24	4337	鹿屋体育大学	宮本 健吾	今津 雄登	5	5	5	<u>11</u>	<u>11</u>	<u>11</u>	11	11	11	8	8	8	3	3	3	8	8	8	9	9	9	55	11	44	8	190.0	4
16	25	4278		川邊 朱里	倉地 紘平	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	13	13	13	9	9	9	15	15	15	13	13	13	15	15	15	11	11	11	91	15	76	16		
20	26	4612		大谷 章夫	船越 怜香	19	19	19	21	21	21	<i>DNC</i>	<i>DNC</i>	<u>30</u>	18	18	18	19	19	19	20	STP	23	14	14	14	144	30	114	20		
21	27	4026	水産大学校	加藤 奏汰	松尾 一星	24	24	24	19	19	19	22	22	22	23	23	23	<u>25</u>	<u>25</u>	<u>25</u>	22	22	22	22	22	22	157	25	132	21	393.0	5
25	28	4262		石間 大志	星 貴裕	22	22	22	27	27	27	27	27	27	24	24	24	22	22	22	25	25	25	<u>28</u>	<u>28</u>	<u>28</u>	175	28	147	25		
26	15	4454		丸山 浩希	井上 雄太	<i>RET</i>	<i>RET</i>	<u>30</u>	23	23	23	20	20	20	27	27	27	26	26	26	29	29	29	23	23	23	178	30	148	26		
22	16	4582	長崎大学	日向 純平	田丸 悠文	20	20	20	22	22	22	<u>25</u>	<u>25</u>	<u>25</u>	22	22	22	24	24	24	24	24	24	20	20	20	157	25	132	22	440.0	6
28	17	4453		野原 ひかり	山下 里空	<i>RET</i>	<i>RET</i>	<u>30</u>	29	29	29	24	24	24	25	25	25	27	27	27	28	28	28	27	27	27	190	30	160	28		
29	6	3759	産業医科大学	高橋 雅	佐藤 慎紀	<i>RET</i>	<i>RET</i>	<u>30</u>	28	28	28	28	28	28	29	29	29	29	29	29	23	23	23	29	29	29	196	30	166	29		
19	21	4261	宮崎大学	中田 麻菜	島津 素代子	<u>21</u>	<u>21</u>	<u>21</u>	20	20	20	16	16	16	21	21	21	20	20	20	16	16	16	18	18	18	132	21	111	19		
24	22	4121	宮崎大学	今村 愛夢	旭 雄大	23	23	23	26	26	26	19	19	19	<u>28</u>	<u>28</u>	<u>28</u>	21	21	21	27	27	27	26	26	26	170	28	142	24		
4	3	4558	日本経済大学	永田 魁	井上 雅之	3	3	3	2	2	2	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	7	7	7	11	11	11	2	2	2	4	4	4	44	15	29	4		
5	4	4480	日本経済大学	河崎 聖	樋高 陽之助	7	7	7	4	4	4	<u>18</u>	<u>18</u>	<u>18</u>	5	5	5	2	2	2	6	6	6	8	8	8	50	18	32	5		
23	5	4442	産業医科大学	常世田 修平	高野 桜子	<i>RET</i>	<i>RET</i>	<u>30</u>	25	25	25	21	21	21	20	20	20	28	28	28	21	21	21	19	19	19	164	30	134	23		
18	13	4023	九州大学	高橋 英悟	三上 雄大	11	11	11	15	15	15	6	6	6	<u>19</u>	<u>19</u>	<u>19</u>	17	17	17	19	19	19	17	17	17	104	19	85	18		
17	14	3796	九州大学	野妻 快成	三浦 堯徳	10	10	10	12	12	12	13	13	13	11	11	11	16	16	16	18	18	18	<u>24</u>	<u>24</u>	<u>24</u>	104	24	80	17		
27	29	3946	水産大学校	吉田 孝彰	後藤 大樹	<i>RET</i>	<i>RET</i>	<u>30</u>	24	24	24	26	26	26	26	26	26	23	23	23	26	26	26	25	25	25	180	30	150	27		
2	1	3760	帆友会	佐藤 菜々恵	金子 壮太	1	1	1	6	6	6	2	2	2	1	1	1	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	3	3	3	2	2	2	27	12	15	2		
1	2	4407	福岡セーリングクラブ	平野 匠	野田 乙心	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	7	7	7	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	1	1	1	23	9	14	1		
レース委員長						レース日		3-May-19	3-May-19	3-May-19	4-May-19	4-May-19	4-May-19	4-May-19	5-May-19																	
岡村 勝美						天候		晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ																	
						風向		350°	340°	330°	340°	350°	350°	345°																		
プロテスト委員長						風速		10kt	10kt	9kt	7kt	10kt	11kt	6-10kt																		
岡部 幸司						スタート時刻		12:12:00	13:20:00	14:30:00	12:05:00	13:20:00	14:35:00	12:23:00																		
						先頭艇フィニッシュ時刻		12:47:49	13:56:01	15:27:00	12:48:26	14:00:55	15:20:28	13:06:48																		
記録部長						レース終了時刻		12:57:30	14:05:13	15:41:47	12:57:20	14:10:15	15:32:43	13:14:51																		
宮崎 太一						参加艇数		29艇	29艇	29艇	29艇	29艇	29艇	29艇																		
						出走艇数		29艇	29艇	28艇	29艇	29艇	29艇	29艇																		

西日本ヨットウィーク

2019/5/2~5/5

福岡市立ヨットハーバー

最終成績

国際470 級						1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	総得点			総合
順位	識別No	セーラーNo	所 属	艇 長	クルー	着順 確定 得点	着順 確定 得点	着順 確定 得点	着順 確定 得点	着順 確定 得点	着順 確定 得点	着順 確定 得点	合計	除外	得点	順位
1	2	4407	福岡セーリングクラブ	平野 匠	野田 乙心	2 2 2	1 1 1	1 1 1	2 2 2	7 7 7	9 9 9	1 1 1	23	9	14.0	1
2	1	3760	帆友会	佐藤 菜々恵	金子 壮太	1 1 1	6 6 6	2 2 2	1 1 1	12 12 12	3 3 3	2 2 2	27	12	15.0	2
3	7	4597	九州大学A	芝 洋斗	近藤 瞭	13 13 13	7 7 7	3 3 3	4 4 4	4 4 4	1 1 1	3 3 3	35	13	22.0	3
4	3	4558	日本経済大学	永田 魁	井上 雅之	3 3 3	2 2 2	15 15 15	7 7 7	11 11 11	2 2 2	4 4 4	44	15	29.0	4
5	4	4480	日本経済大学	河崎 聖	樋高 陽之助	7 7 7	4 4 4	18 18 18	5 5 5	2 2 2	6 6 6	8 8 8	50	18	32.0	5
6	20	4251	福岡大学	小村 凜平	木原 寛太	14 14 14	3 3 3	7 7 7	6 6 6	5 5 5	10 10 10	6 6 6	51	14	37.0	6
7	10	4468	九州大学B	市川 緋那	佐藤 拓海	4 4 4	5 5 5	10 10 10	13 13 13	1 1 1	17 17 17	10 10 10	60	17	43.0	7
8	24	4337	鹿屋体育大学	宮本 健吾	今津 雄登	5 5 5	11 11 11	11 11 11	8 8 8	3 3 3	8 8 8	9 9 9	55	11	44.0	8
9	8	4556	九州大学A	永野 俊輔	石原 大輝	6 6 6	10 10 10	8 8 8	3 3 3	6 6 6	11 11 11	12 12 12	56	12	44.0	9
10	12	4187	九州大学B	福本 航	添田 隼朔	12 12 12	9 9 9	4 4 4	14 14 14	18 18 18	12 12 12	5 5 5	74	18	56.0	10
11	11	4307	九州大学B	森 ゆり奈	矢吹 創	17 17 17	14 14 14	17 17 17	9 9 9	9 9 9	4 4 4	15 15 15	85	17	68.0	11
12	23	4467	鹿屋体育大学	木田 拳太郎	石田 千尋	18 18 18	16 16 16	14 14 14	10 10 10	10 10 10	7 7 7	13 13 13	88	18	70.0	12
13	18	4542	福岡大学	鈴木 杏依子	市原 東	16 16 16	8 8 8	12 12 12	17 17 17	15 15 15	13 13 13	7 7 7	88	17	71.0	13
14	19	4335	福岡大学	柴田 桂佑	河津 優理	8 8 8	18 18 18	23 23 23	12 12 12	8 8 8	5 5 5	21 21 21	95	23	72.0	14
15	9	4522	九州大学A	今西 健也	神川 光	9 9 9	17 17 17	5 5 5	16 16 16	14 14 14	14 14 14	16 16 16	91	17	74.0	15
16	25	4278	鹿屋体育大学	川邊 朱里	倉地 紘平	15 15 15	13 13 13	9 9 9	15 15 15	13 13 13	15 15 15	11 11 11	91	15	76.0	16
17	14	3796	九州大学	野妻 快成	三浦 堯徳	10 10 10	12 12 12	13 13 13	11 11 11	16 16 16	18 18 18	24 24 24	104	24	80.0	17
18	13	4023	九州大学	高橋 英悟	三上 雄大	11 11 11	15 15 15	6 6 6	19 19 19	17 17 17	19 19 19	17 17 17	104	19	85.0	18
19	21	4261	宮崎大学	中田 麻菜	島津 素代子	21 21 21	20 20 20	16 16 16	21 21 21	20 20 20	16 16 16	18 18 18	132	21	111.0	19
20	26	4612	水産大学校	大谷 章夫	船越 怜香	19 19 19	21 21 21	DNC DNC 30	18 18 18	19 19 19	20 STP 23	14 14 14	144	30	114.0	20
21	27	4026	水産大学校	加藤 奏汰	松尾 一星	24 24 24	19 19 19	22 22 22	23 23 23	25 25 25	22 22 22	22 22 22	157	25	132.0	21
22	16	4582	長崎大学	日向 純平	田丸 悠文	20 20 20	22 22 22	25 25 25	22 22 22	24 24 24	24 24 24	20 20 20	157	25	132.0	22
23	5	4442	産業医科大学	常世田 修平	高野 桜子	RET RET 30	25 25 25	21 21 21	20 20 20	28 28 28	21 21 21	19 19 19	164	30	134.0	23
24	22	4121	宮崎大学	今村 愛夢	旭 雄大	23 23 23	26 26 26	19 19 19	28 28 28	21 21 21	27 27 27	26 26 26	170	28	142.0	24
25	28	4262	水産大学校	石間 大志	星 貴裕	22 22 22	27 27 27	27 27 27	24 24 24	22 22 22	25 25 25	28 28 28	175	28	147.0	25
26	15	4454	長崎大学	丸山 浩希	井上 雄太	RET RET 30	23 23 23	20 20 20	27 27 27	26 26 26	29 29 29	23 23 23	178	30	148.0	26
27	29	3946	水産大学校	吉田 孝彰	後藤 大樹	RET RET 30	24 24 24	26 26 26	26 26 26	23 23 23	26 26 26	25 25 25	180	30	150.0	27
28	17	4453	長崎大学	野原 ひかり	山下 里空	RET RET 30	29 29 29	24 24 24	25 25 25	27 27 27	28 28 28	27 27 27	190	30	160.0	28
29	6	3759	産業医科大学	高橋 雅	佐藤 楨紀	RET RET 30	28 28 28	28 28 28	29 29 29	29 29 29	23 23 23	29 29 29	196	30	166.0	29
レース委員長				レース日		3-May-19	3-May-19	3-May-19	4-May-19	4-May-19	4-May-19	5-May-19				
岡村 勝美				天 候		晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ				
				風 向		350°	340°	330°	340°	350°	350°	345°				
プロテスト委員長				風 速		10kt	10kt	9kt	7kt	10kt	11kt	6-10kt				
岡部 幸司				スタート時刻		12:12:00	13:20:00	14:30:00	12:05:00	13:20:00	14:35:00	12:23:00				
				先頭艇フィニッシュ時刻		12:47:49	13:56:01	15:27:00	12:48:26	14:00:55	15:20:28	13:06:48				
記録部長				レース終了時刻		12:57:30	14:05:13	15:41:47	12:57:20	14:10:15	15:32:43	13:14:51				
宮崎 太一				参加艇数		29 艇	29 艇	29 艇	29 艇	29 艇	29 艇	29 艇				
				出走艇数		29 艇	29 艇	28 艇	29 艇	29 艇	29 艇	29 艇				

# 2019年度 九州学生ヨット選手権大会(個人戦)

2019年7月6日～7日

福岡市立ヨットハーバー

最終成績

国際470 級							1R			2R			3R			4R			5R			6R			総 得 点			総合 順位
順位	識別No	セールNo	艇No	所 属	艇 長	クルー	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	除外	得点	
1	5	4556	4556	九州大学	永野 俊輔	佐藤 拓海	1	1	1	2	2	2	1	1	1	<u>5</u>	<u>5</u>	<u>5</u>	1	1	1	2	2	2	12	5	7.0	1
2	16	4480	4480	日本経済大学	河崎 聖	井上 雅之	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	10	10	10	2	2	2	1	1	1	4	4	4	1	1	1	28	10	18.0	2
3	18	4683	4683	福岡大学	小村 凜平	木原寛太	4	4	4	1	1	1	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	8	8	8	3	3	3	3	3	3	31	12	19.0	3
4	15	4634	4634	日本経済大学	樋高 陽之助	永田 魁	2	2	2	7	7	7	6	6	6	3	3	3	5	5	5	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	32	9	23.0	4
5	12	4467	4467	鹿屋体育大学	川邊 朱里	今津 雄登	3	3	3	8	8	8	8	8	8	4	4	4	2	2	2	<u>11</u>	<u>11</u>	<u>11</u>	36	11	25.0	5
6	13	4337	4337	鹿屋体育大学	宮本 健吾	倉地 紘平	<u>7</u>	<u>7</u>	<u>7</u>	5	5	5	4	4	4	6	6	6	7	7	7	5	5	5	34	7	27.0	6
7	19	4543	4712	福岡大学	柴田 桂佑	河津 優理	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	6	6	6	9	9	9	2	2	2	8	8	8	4	4	4	41	12	29.0	7
8	4	4597	4597	九州大学	芝 洋斗	近藤 瞭	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	3	3	3	3	3	3	7	7	7	9	9	9	7	7	7	38	9	29.0	8
9	6	4522	4522	九州大学	市川 緋那	添田 隼翔	8	8	8	<u>14</u>	<u>14</u>	<u>14</u>	7	7	7	12	12	12	6	6	6	12	12	12	59	14	45.0	9
10	10	4023	3757	九州大学	野妻 快成	石原 大輝	6	6	6	4	4	4	<i>DNC</i>	<i>DNC</i>	<u>22</u>	13	13	13	15	15	15	8	8	8	68	22	46.0	10
11	14	4278	4278	鹿屋体育大学	木田 拳太郎	石田 千尋	5	5	5	12	12	12	5	5	5	11	11	11	13	13	13	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	61	15	46.0	11
12	9	4187	3796	九州大学	今西 健也	三浦 堯徳	11	11	11	<u>13</u>	<u>13</u>	<u>13</u>	11	11	11	9	9	9	10	10	10	10	10	10	64	13	51.0	12
13	7	4468	4468	九州大学	福本 航	三上 雄大	14	14	14	9	9	9	<i>DNS</i>	<i>DNS</i>	<u>22</u>	15	15	15	11	11	11	6	6	6	77	22	55.0	13
14	11	3796	3617	九州大学	高橋 英悟	神川 光	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	11	11	11	10	10	10	14	14	14	14	14	14	13	13	13	77	15	62.0	14
15	8	4307	4307	九州大学	森 ゆり奈	矢吹 創	13	13	13	16	16	16	<i>DNF</i>	<i>DNF</i>	<u>22</u>	10	10	10	12	12	12	14	14	14	87	22	65.0	15
16	1	4582	4454	長崎大学	日向 純平	田丸 悠文	18	18	18	15	15	15	13	13	13	<u>19</u>	<u>19</u>	<u>19</u>	19	19	19	16	16	16	100	19	81.0	16
17	21	4166	4166	熊本大学	今西 智滉	藤本 晃希	16	16	16	<i>RET</i>	<i>RET</i>	<u>22</u>	<i>DNF</i>	<i>DNF</i>	22	18	18	18	16	16	16	18	18	18	112	22	90.0	17
18	17	4006	4442	産業医科大学	常世田 修平	佐藤 禎紀	20	20	20	<i>DNF</i>	<i>DNF</i>	<u>22</u>	<i>DNF</i>	<i>DNF</i>	22	16	16	16	17	17	17	17	17	17	114	22	92.0	18
19	20	4542	4122	福岡大学	山内 日和	市原 東	19	19	19	<i>DNF</i>	<i>DNF</i>	<u>22</u>	<i>RET</i>	<i>RET</i>	22	17	17	17	18	18	18	19	19	19	117	22	95.0	19
20	3	4453	3706	長崎大学	野原 ひかり	山下 里空	21	21	21	17	17	17	<i>DNF</i>	<i>DNF</i>	<u>22</u>	20	20	20	21	21	21	20	20	20	121	22	99.0	20
21	2	4454	3374	長崎大学	丸山 浩希	井上 雄太	17	17	17	<i>DNF</i>	<i>DNF</i>	<u>22</u>	<i>RET</i>	<i>RET</i>	22	21	21	21	20	20	20	21	21	21	123	22	101.0	21
レース委員長							レース日			6-Jul-19	6-Jul-19	6-Jul-19	7-Jul-19	7-Jul-19	7-Jul-19													
岡村 勝美							天 候			曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ													
							風 向			340°	20°	10°	40°	5°	5°													
プロテスト委員長							風 速			7kt	12kt	17kt	7kt	7kt	10kt													
岡部 幸司							スタート時刻			12:05:00	14:05:00	15:35:00	11:14:00	12:40:00	13:50:00													
							最初の艇フィッシュ時刻			12:42:40	14:38:38	16:09:40	12:03:16	13:23:50	14:24:46													
記録部長							レース終了時刻			12:49:28	14:53:38	16:24:40	12:12:50	13:29:50	14:30:38													
吉留 容子							参加艇数			21 艇	21 艇	21 艇	21 艇	21 艇	21 艇													
							出走艇数			21 艇	21 艇	20 艇	21 艇	21 艇	21 艇													



## 2019年度九州学生ヨット選手権大会団体戦

8月23日～8月25日

国立大学法人鹿屋体育大学海洋スポーツセンター

最終成績

国際470級							1R			2R			3R			4R			5R			6R			7R			艇			艇	総合	総合
艇順位	セールNo	艇No	水域	所属	艇長	クルー	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	除外	得点	順位	得点	順位
1	4597	4717		九州大学	永野俊輔	佐藤拓海	3	3	3	1	1	1	1	1	1	3	3	3	1	1	1	2	2	2	3	3	3	14		14	1		
5	4556	4597			芝洋人	三上雄大	8	8	8	9	8	8	4	4	4	5	5	5	4	4	4	7	7	7	8	8	8	44		44	5	75.0	1
2	4522	4556			市川緋那	近藤瞭	1	1	1	4	3	3	6	6	6	1	1	1	2	2	2	3	3	3	1	1	1	17		17	2		
4	4467	4467		鹿屋体育大学	川邊朱里	今津雄登	6	6	6	5	4	4	2	2	2	2	2	2	6	6	6	5	5	5	4	4	4	29		29	4		
3	4337	4337			宮本健吾	倉地結平	5	5	5	6	5	5	3	3	3	4	4	4	5	5	5	1	1	1	6	6	6	29		29	3	104.0	2
6	4278	4278			木田拳太郎	石田千尋	4	4	4	8	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	4	4	4	7	7	7	46		46	6	
9	4712	4712		福岡大学	柴田桂佑	松尾和樹	7	7	7	7	6	6	9	9	9	6	6	6	7	7	7	8	8	8	5	5	5	48		48	9		
8	4683	4683			小村凜平	木原寛太	2	2	2	2	DSQ	15	5	5	5	7	7	7	3	3	3	6	6	6	9	9	9	47		47	8	142.0	3
7	4543	4543			鈴木杏依子	市原東	9	9	9	3	2	2	7	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	2	2	2	47		47	7		
10	4582	3374		長崎大学	日向純平	山本茂晴	10	10	10	10	9	9	10	10	10	11	11	11	10	10	10	13	13	13	10	10	10	73		73	10		
12	4454	4453			野原ひかり	丸山浩希	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	12	12	12	82		82	12	231.0	4
11	4453	4582			羽野太佳夫	庄司結介	11	11	11	11	10	10	11	11	11	10	10	10	11	11	11	12	12	12	11	11	11	76		76	11		
13	4292	4292		大分大学	佐藤賢一	吉田匠平	13	13	13	13	RET	15	13	13	13	13	13	13	RET	RET	15	10	10	10	DNF	DNF	15	94		94	13		
14	4188	4302			松尾匠	鈴木悠哉	14	14	14	DNF	DNF	15	DNF	DNF	15	14	14	14	13	13	13	14	14	14	DNC	DNC	15	100		100	14		
レース委員長							2		23-Aug-19	23-Aug-19	23-Aug-19	24-Aug-19	24-Aug-19	24-Aug-19	24-Aug-19	24-Aug-19	25-Aug-19																
プロテスト委員長							坂口 陽平		天候		晴れ	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	雨	雨															
テクニカル委員							米良 格		風向		220°	210°	210°	210°	240°	325°	90°																
記録部長							三森 淳		風速		8-10kt	10kt	15kt	6kt	5kt	8kt	5-7kt																
							松本 雄一郎		スタート時刻		12:05:00	13:20:00	16:10:00	10:50:00	12:15:00	15:25:00	12:55:00																
									最初の艇フニツキ時刻		12:38:41	13:52:03	16:49:29	11:34:02	13:00:32	16:10:24	13:46:58																
									レース終了時刻		12:49:12	14:07:03	17:04:29	11:46:24	13:11:40	16:22:44	14:01:58																
									参加艇数		14艇																						
									出走艇数		14艇	14艇	14艇	14艇	14艇	14艇	13艇																



# 第84回 全日本学生ヨット選手権大会

クラス別団体総合成績

2019年10月30日～11月4日

兵庫県西宮市:新西宮ヨットハーバー

2019年11月4日16時25分

最終成績

国際470級			1R		2R		3R		4R		5R		6R		7R		8R		9R		10R		11R		艇		団体							
順位	識別No	セーラーNo	大学名	着	確点	小計	着	確点	小計	着	確点	小計	着	確点	小計	着	確点	小計	着	確点	小計	着	確点	小計	着	確点	小計	計	除外	合計	順位	合計	順位	
1	13	4713	慶應義塾大学	9	8 8	13 13 13	39	12 11 11	14	2 2 2	9																	34	34	4	95	1		
	14	4693		14	13 13	33	15 15 15	2	2 2 2	3	3 3 3																	33	33	2				
	15	4633		13	12 12	11 11 11	72	1 1 1	86	4 4 4	95																		28	28			1	
2	10	4714	日本大学	2	1 1 1	1 1 1	9	34 33 33	72	8 8 8	15																	43	43	8	120	2		
	11	4734		21	20 20	24	6 6 6	14	13 13	1	1 1 1																	40	40	6				
	12	4733		4	3 3 3	2	2 2 2	33	27 26 26	105	6 6 6	120																	37	37			5	
3	7	4695	早稲田大学	5	4 4	3 3 3	67	18 17 17	83	9 9 9	39																	33	33	3	252	3		
	8	4647		32	30 30	63	37 36 36	31	30 30	14	14 14																	110	110	23				
	9	4562		31	29 29	29	28 28	130	37 36 36	213	16 16 16	252																	109	109			22	
4	52	4702	関西大学	10	9 9	8 8 8	74	7 7 7	75	41 41 41	68																	65	65	10	265	4		
	53	4645		3	2 2 2	48	30 29 29	24	23 23	17	17 17																		71	71			12	
	54	4559		39	37 37	38	37 37	122	46 45 45	197	10 10 10	265																	129	129			32	
5	34	4694	同志社大学	38	36 36	24	23 23	89	11 10 10	61	19 19 19	58																	88	88	16	271	5	
	35	4587		23	21 21	63	45 44 44	4	4 4 4	26	26 26																		95	95	20			
	36	4589		7	6 6 6	23	22 22	152	48 47 47	213	13 13 13	271																		88	88			15
6	22	4672	明治大学	6	5 5	20	19 19	67	9 9 9	59	12 12 12	78																	45	45	9	278	6	
	23	4606		46	44 44	74	14 14 14	16	15 15	44	44 44																		117	117	25			
	24	4498		27	25 25	35	34 34	141	36 35 35	200	22 22 22	278																		116	116			24
7	19	4732	中央大学	12	11 11	25	24 24	49	22 21 21	89	29 29 29	84																	85	85	14	311	7	
	20	4731		49	47 47	89	4 4 4	38	37 37	5	5 5 5																		93	93	19			
	21	4571		33	31 31	22	21 21	138	32 31 31	227	50 50 50	311																		133	133			35
8	16	4566	明海大学	15	14 14	27	26 26	99	33 32 32	106	18 18 18	66																	90	90	18	348	8	
	17	4492		58	56 56	77	62 61 61	35	34 34	33	33 33																		184	184	47			
	18	4402		8	7 7 7	12	12 12	176	41 40 40	282	15 15 15	348																		74	74			13
9	70	4542	福岡大学	41	39 39	21	20 20	63	59 57 57	120	67 66 66	97																	182	182	46	361	9	
	71	4683		11	10 10	81	16 16 16	5	5 5 5	11	11 11																			42	42			7
	72	4712		34	32 32	28	27 27	144	60 58 58	264	20 20 20	361																		137	137			37
10	46	4735	関西学院大学	1	UFD 73	47	46 46	86	47 46 46	111	7 7 7	62																	172	172	43	383	10	
	47	4680		18	17 17	124	9 9 9	39	38 38	25	25 25																			89	89			17
	48	4594		36	34 34	32	31 31	210	28 27 27	321	30 30 30	383																		122	122			30
11	37	4685	京都大学	20	19 19	40	39 39	122	15 14 14	98	24 24 24	84																	96	96	21	406	11	
	38	4489		35	33 33	102	34 33 33	61	59 59	23	23 23																			148	148			39
	39	4352		52	50 50	51	50 50	224	26 25 25	322	37 37 37	406																		162	162			40
12	64	4717	九州大学	19	18 18	17	17 17	100	30 29 29	81	58 58 58	153																	122	122	29	435	12	
	65	4597		37	35 35	101	36 35 35	13	12 12	40	40 40																			122	122			28
	66	4556		50	48 48	49	48 48	201	19 ARB 40	282	55 55 55	435																		191	191			52
13	25	4692	東京大学	40	38 38	31	30 30	142	6 6 6	87	47 47 47	114																	121	121	27	439	13	
	26	4579		45	43 43	96	58 57 57	54	53 53	39	39 39																			192	192			53
	27	4452		16	15 15	56	55 55	238	29 28 28	325	28 28 28	439																		126	126			31
14	28	4716	法政大学	25	23 23	10	10 10	95	43 42 42	111	45 45 45	118																	120	120	26	444	14	
	29	4501		48	46 46	120	39 38 38	20	19 19	31	31 31																			134	134			36
	30	4620		53	51 51	48	47 47	215	51 50 50	326	42 42 42	444																		180	180			51
15	40	4643	立命館大学	28	26 26	7	7 7 7	118	8 8 8	105	27 27 27	126																	68	68	11	477	15	
	41	4689		44	42 42	128	50 49 49	10	RET 73	46	46 46																			210	210			59
	42	4538		62	60 60	63	62 62	246	25 24 24	351	53 53 53	477																		199	199			55
16	49	4708	大阪大学	24	22 22	67	66 66	151	17 16 16	108	36 36 36	123																	140	140	38	487	16	
	50	4664		30	28 28	105	43 42 42	52	51 51	52	52 52																			173	173			44
	51	4663		57	55 55	44	43 43	256	42 41 41	364	35 35 35	487																		174	174			45
17	55	4718	甲南大学	56	54 54	54	53 53	143	3 3 3	105	21 21 21	103																	131	131	33	505	17	
	56	4428		22	DSQ 73	154	59 58 58	40	39 39	34	34 34																							

琴風会関東支部会が、2020年1月13日“長崎しっぽく浜勝 銀座本店”にて16名参加され賑やかに開催されました。遠く福岡から盈会長も駆けつけ、銀座で長崎の味を堪能。楽しい会の写真は、琴風会ホームページ“長崎大学ヨット部琴風会”に掲載しています。

令和2年3月吉日

琴風会関東支部会にご参加いただいた皆さま

過日は、お忙しいところ、第八回琴風会関東支部会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。お陰様で今回も盛況のうちに無事終えることができました。改めまして感謝申し上げます。

今回も、元支部長である八幡さんのご好意により、浜勝銀座店で美味しい卓袱料理と焼酎を堪能させていただきました。

また、久しぶりにご参加いただいた方もいて、楽しいひとときを過ごすことができました。

さて、いよいよ今年は東京オリンピックイヤーとなり、本番まで半年を切りました。セーリング競技の会場となる神奈川県藤沢市江の島ヨットハーバーでは、着々と準備が進められております。

本番の一ヶ月前は、6月12日～21日にワールドカップが予定されており、最後のチェックが行われる予定です。

本番の観戦チケット入手は、ご苦労されている方も多いと存じますが、双眼鏡があれば近隣の浜辺からでも雰囲気は味わえるものと思いますので、よろしければお楽しみください。また、ご案内の通り2020年琴風会総会は8月1日箱根にて開催予定です。是非ご参加ください。

寒暖の激しい日が続きます。また、ウィルス騒動も当分続くと思われていますが、ご自愛いただき健康専一にお過ごしください。

PS.写真を同封させていただきます。ご笑納ください。

以上

琴風会関東支部会 支部長 江口 和哉  
副支部長 齊藤 賢治











## 2019 年度琴風会総会

S 52 年入部 貝原 宗重

2019 年 8 月 31 日琴風会総会が加治屋町通り長崎卓袱浜勝でにぎやかに開かれました。卓袱料理に舌鼓を打ちながら、琴風会の役員交代・琴風会会費の納入状況・現役支援等について、美味しいお酒を飲みながら盛り上がりました。

1) 盈会長勇退の宣言があり、2020 年度の琴風会総会 in TOKYO2020 を最後に、肥田剛一君（昭和 56 年入部、教育学部）に会長のバトンが渡されることが了承されました。

もちろん、“予定は未定”ですので“おいが、わたしが、会長ば引き受けてやるばい！”という方がいらっしやいましたら、ご連絡をお願いいたします。

2) 会費納入に関して、2019 年度の琴風誌 46 号発送時に“70 歳以上の会員については、会費納入は任意としたらどうでしょうか？”との提示をしましたが反対意見は寄せられませんでしたので、2020 年度より正式に“70 歳以上の会員は、会費納入は任意”となり、長崎大学ヨット部琴風会会則も変更されました。

翌 9 月 1 日は、雨の予報でゴルフ・子々川バーベキュー&レースの開催が危ぶまれましたが、当日、天気はなんとか持ちこたえ、楽しい一日を過ごすことができました。バーベキューは、田井隆之君が仕込みをしてくれていましたが、8 月 31 日より急用のため長崎を離れる緊急事態となりました。急遽、子々川に向かい現役に仕込みを伝授してくれ**家族連れの素晴らしいバーベキュー大会**となりました。**田井君ありがとう！**また、矢頭君が対馬のフラットアワー（須崎君が活躍しています）より、超新鮮な魚を取り寄せてくれ、バーベキューに花を添えました。**矢頭君ありがとう！**ゴルフも 4 人という少人数でしたが、藤原先輩のホームコースで賑やかに開催されました。

今年は、新型コロナ騒動で琴風会総会の日取りは未定ですが、賑やかに集まりましょう！





八幡先輩よりシャトーマルゴー!!!をいただきました









## 長崎大学ヨット部琴風会会則

- 第一条 本会は長崎大学ヨット部卒業生間の親睦交流及び長崎大学ヨット部の後援を目的とする。
- 第二条 本会は長崎大学ヨット部卒業生及び長崎大学ヨット部に功績のあった者で本会総会で承認された者より構成される。
- 第三条 本会に会長一名、副会長一名、役員若干名、会計一名、顧問数名を置く。
- 第四条 会長・副会長・役員・会計・顧問は総会の互選又は推薦による。
- 第五条 会長は総務を司り副会長はこれを補佐する。  
役員は毎卒業年度の会員との連絡を密にし会の運営を司る。
- 第六条 役員会は会長の意のもとに任時かいさいする。  
本会の運営は総会及び役員会の議決による。
- 第七条 毎年夏期に総会を開催する。その際、新年度の役員を改選し会計報告を行う。
- 第八条 第一条の目的の為、OBレース・クルージング、現役部員と共に合宿訓練などを行う。
- 第九条 会計は会員の会費及び寄付金によって運営する。  
会費は年間五千円とし、会計年度は4月から3月までとする。
- 第十条 本会の名称を琴風会と称し、事務所は福田ゆたか外科医院とする。
- 第十一条 5年以上会費未納の場合は「琴風」の発送を停止する。但し、その後会費納付の際はその限りにあらず。  
70歳を超える会員については、会費納入は任意とする。

## 編集後記

本号より琴風誌はWebサイト公開といたしました。写真はカラーとなっており冊子には掲載されていない写真も掲載しています。是非、本会のサイト“**長崎大学ヨット部琴風会**”にアクセスください。同サイトは現役のツイッターとも連携していますので、現役の日々の活動・遠征情報がリアルタイムで更新されます。また、Webサイト公開に伴い、Facebookの紹介は休止いたしました。長田理恵子先輩、龍尾一信先輩、綾部洋一君、肥田剛一君、楠本圭祐君、正角雅代さん、大熊典子さん、須崎寛和君、益富ゆかさん、川瀬彩さん、齋藤謙太君、加藤菜穂さん、と多くの会員がFacebookで楽しい情報を発信していますので、のぞいてみてください。

本年も多くの寄稿ありがとうございます。原稿のお願い・編集・住所録更新・袋詰めそして発送と *Kai Waves* では1年がかりで琴風誌作成を行っています。不十分かつ不適切な点が多々あると思いますが、ご容赦ください。琴風誌についてご意見・ご希望がありましたら、是非ともご連絡ください。

*Kai Waves*事務・作業係り：貝原 宗重

2020年6月2日記